

あらすじ

人口三〇万、そのうち八割を学生が占める『学園都市』は、他地域より数十年前科学技術が進み、超能力開発がカリキュラムに組み込まれている特殊な研究都市である。その『学園都市』の住人であり、七人しかいない『超能力者』の一人でもある中学生、御坂美琴はその能力と性格のため、『学園都市』特有の事件に次々と巻き込まれていく――

とある科学の 超電磁砲

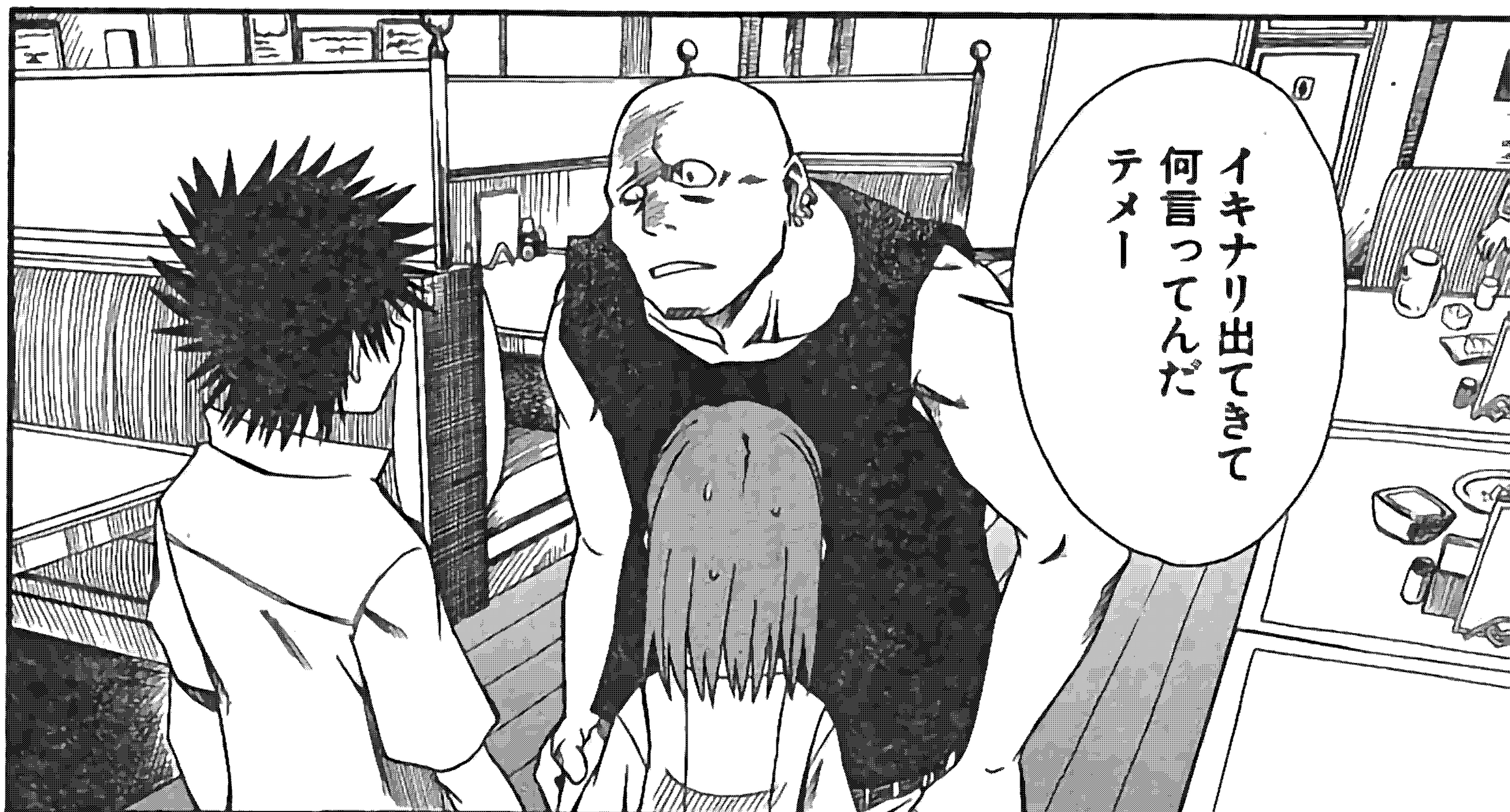
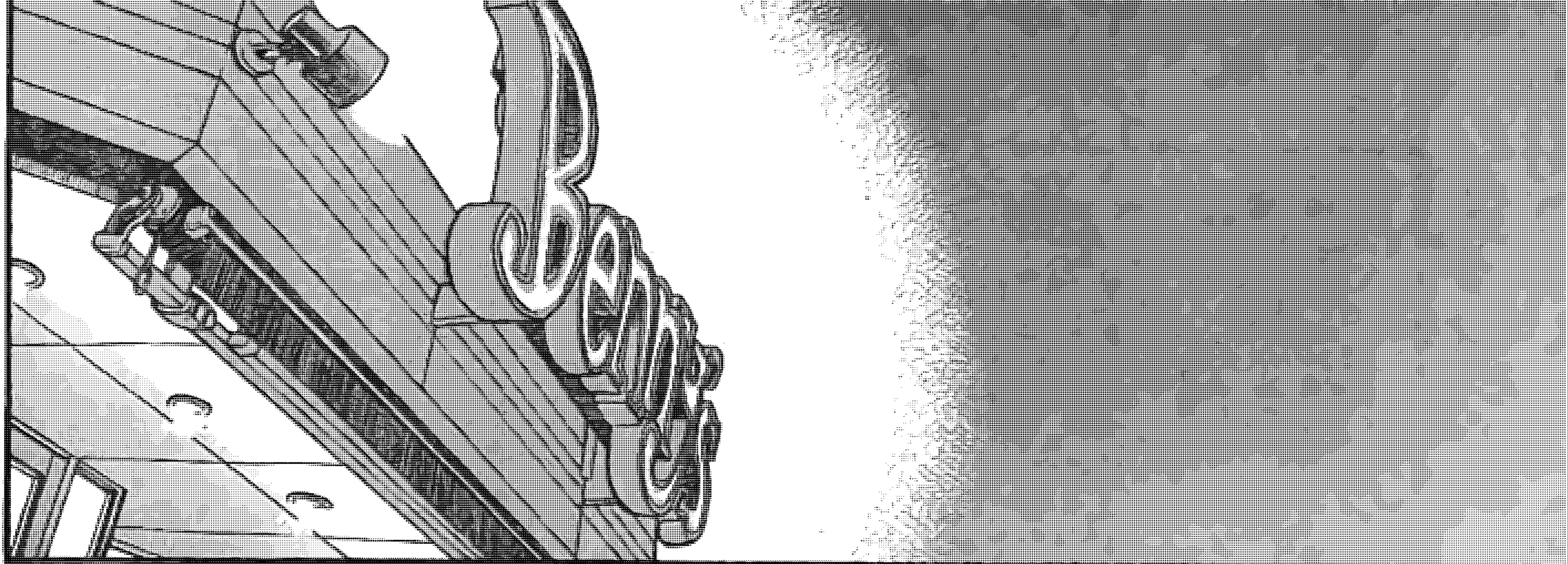
仲よき事は
美しき哉――

第七話：七月十九日②

原作：鎌池和馬

作画：冬川 基

キャラクターデザイン：灰村キヨタカ





レストラン

食事するよー
たうーが

や…ヤバイ
このままじゃ
情報が…



このチャンス
逃して
たまるかつ！

えー

こんな人
私知らない



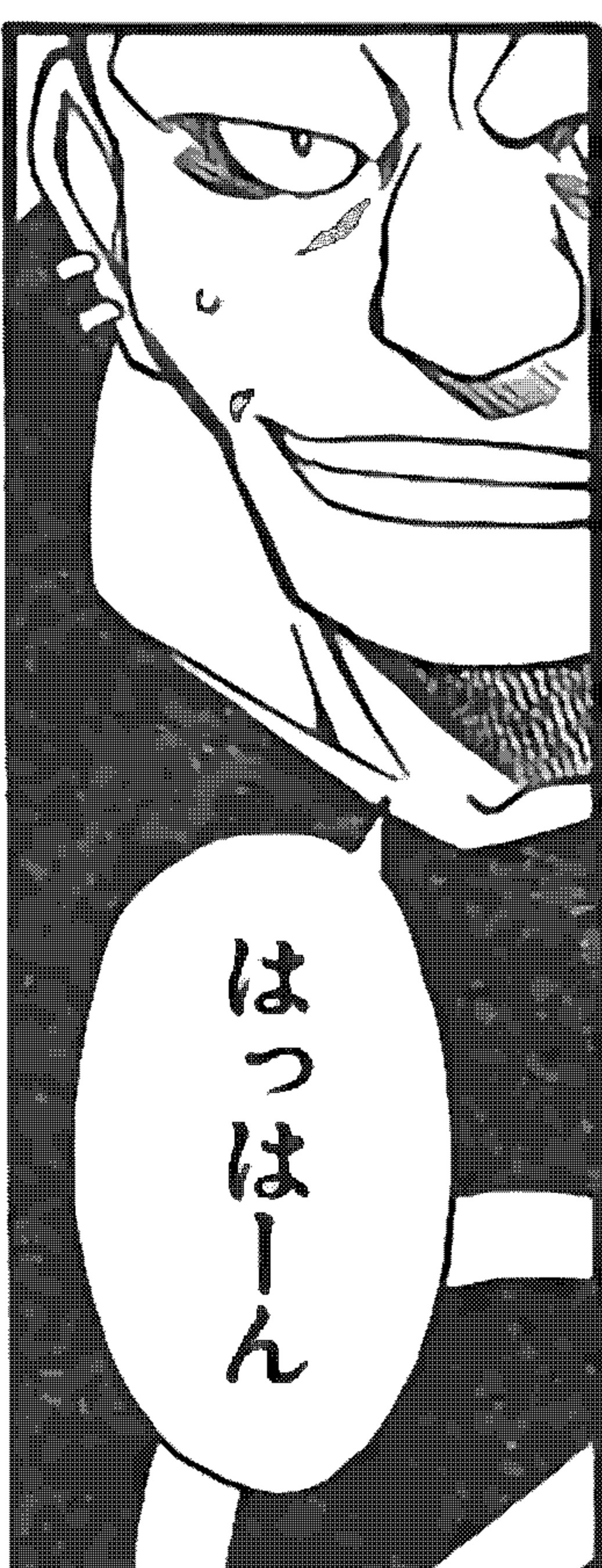
サカるなら
一人でビデオ相手に
がんばってろ

何だとおツ

スルー？



だいたいな
あいつはあんな
キアラじゃないぞ
おまえらの
手に負える
相手じゃない
やめとけ



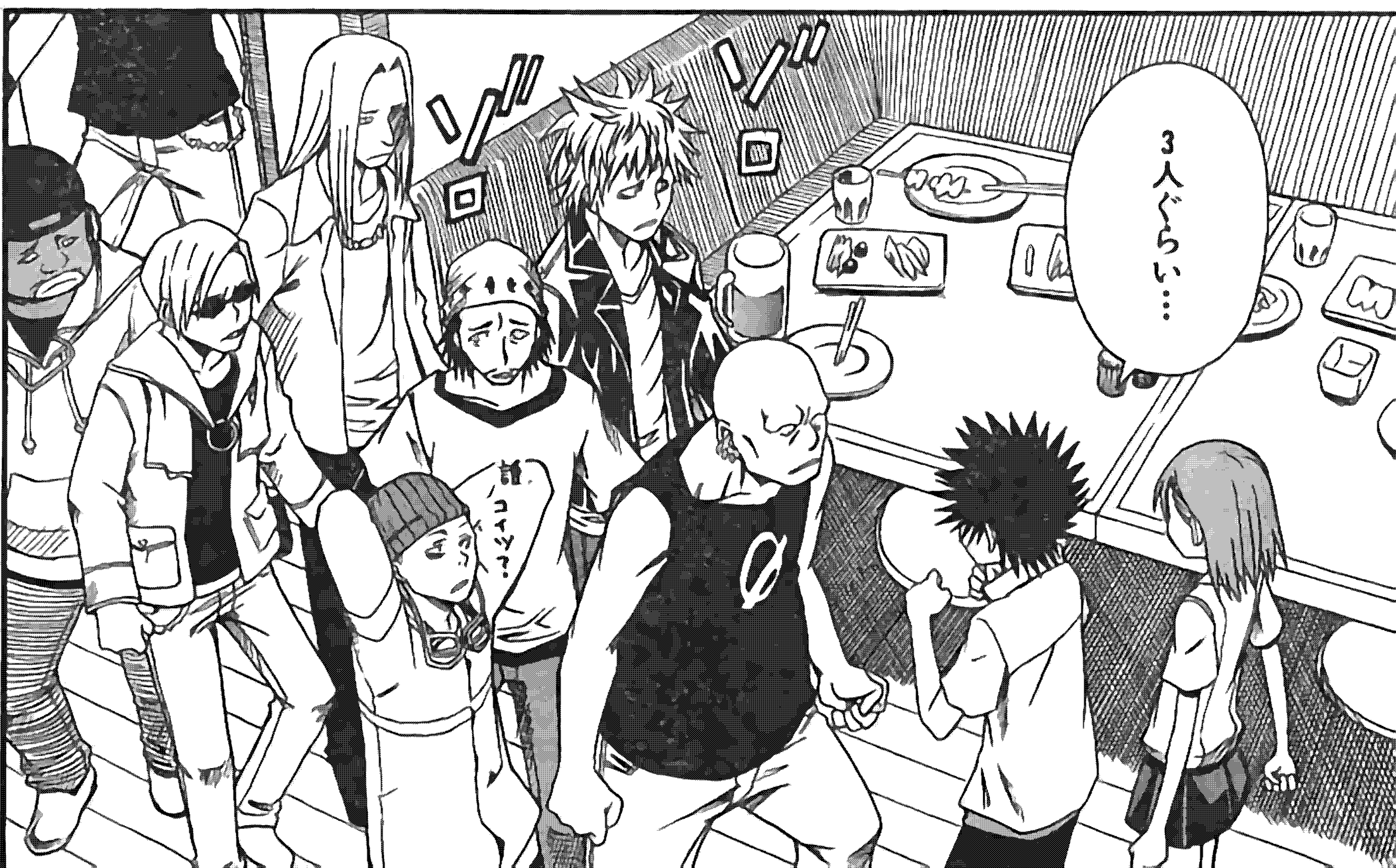
はっはーん

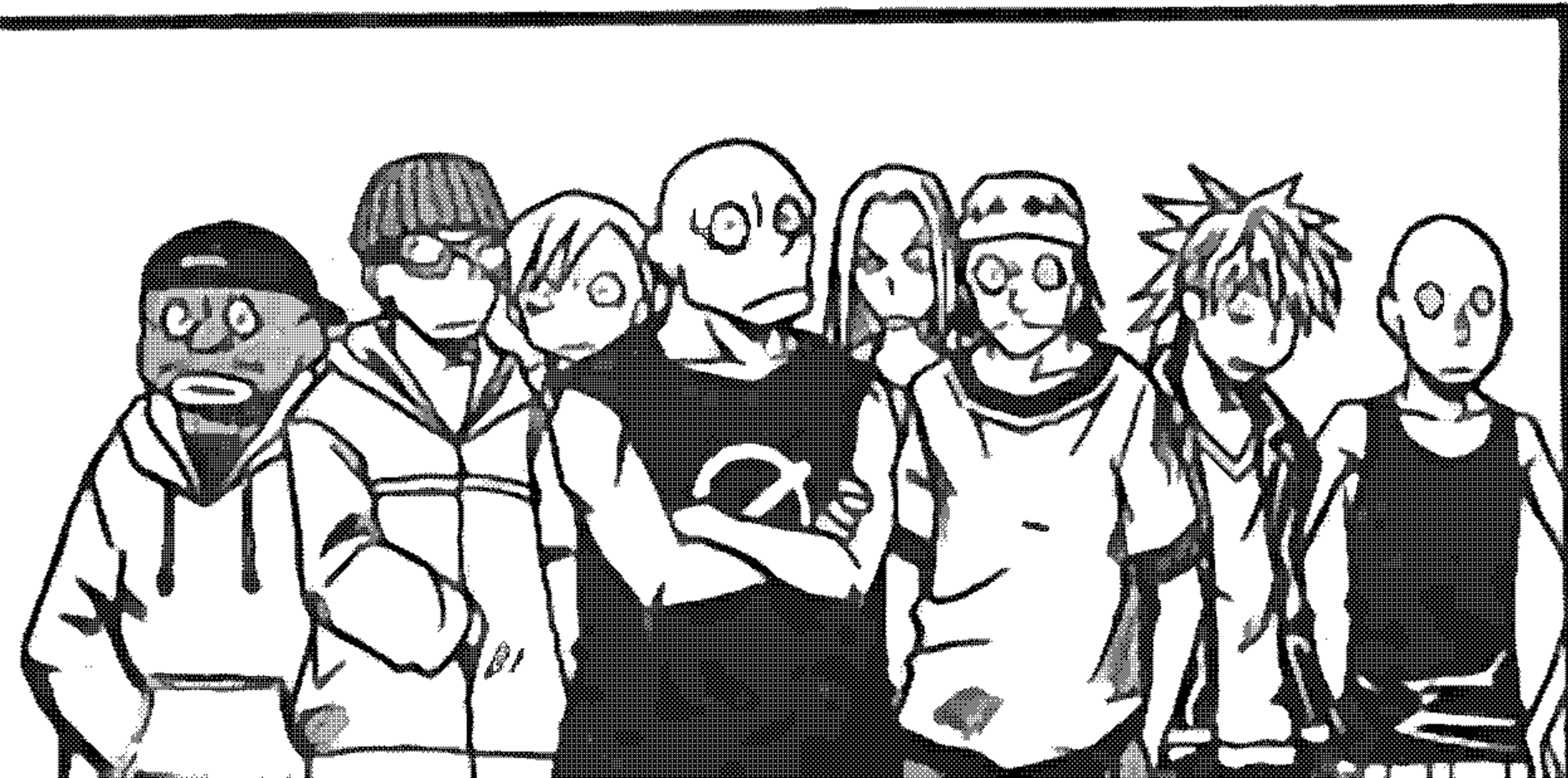
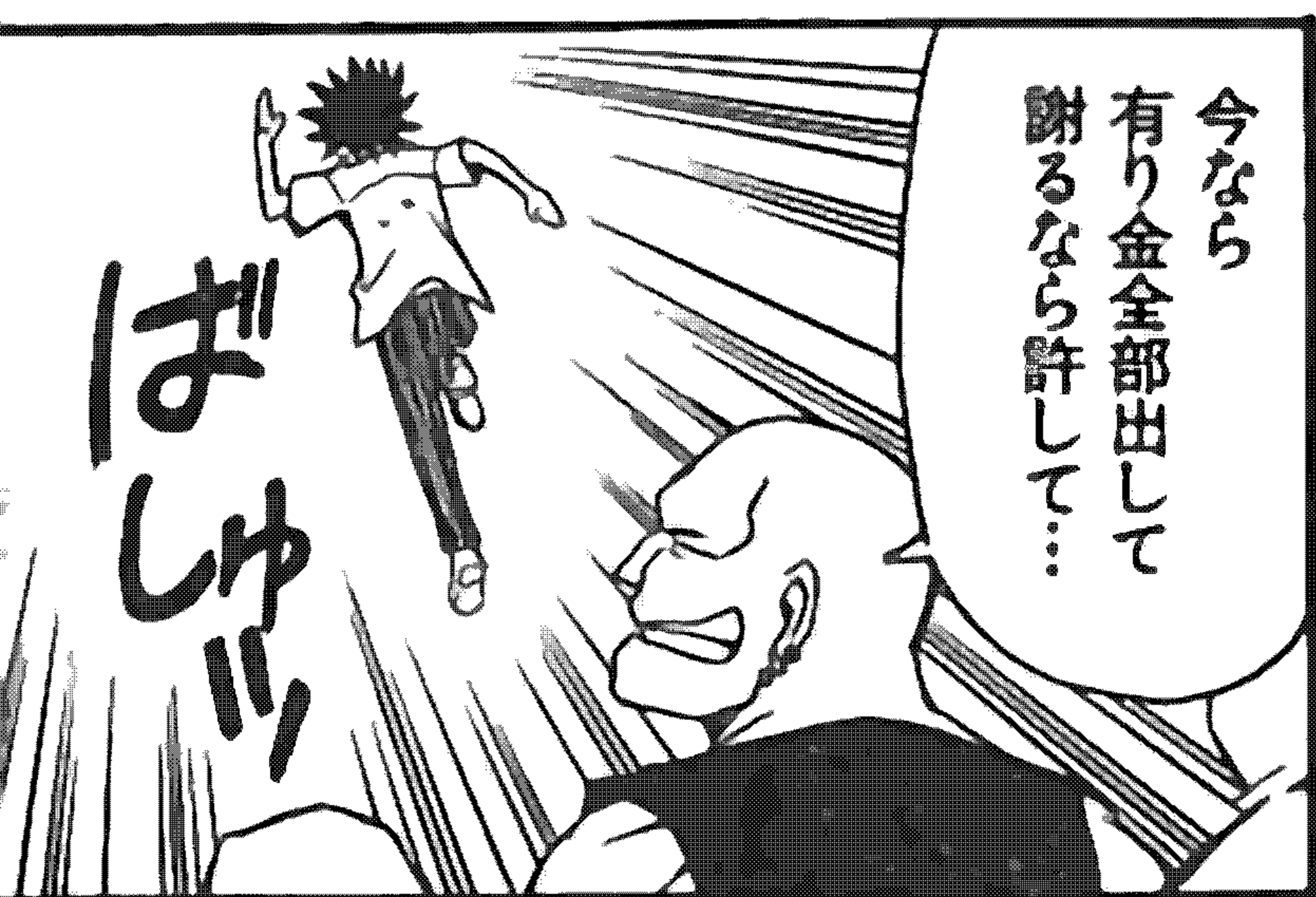
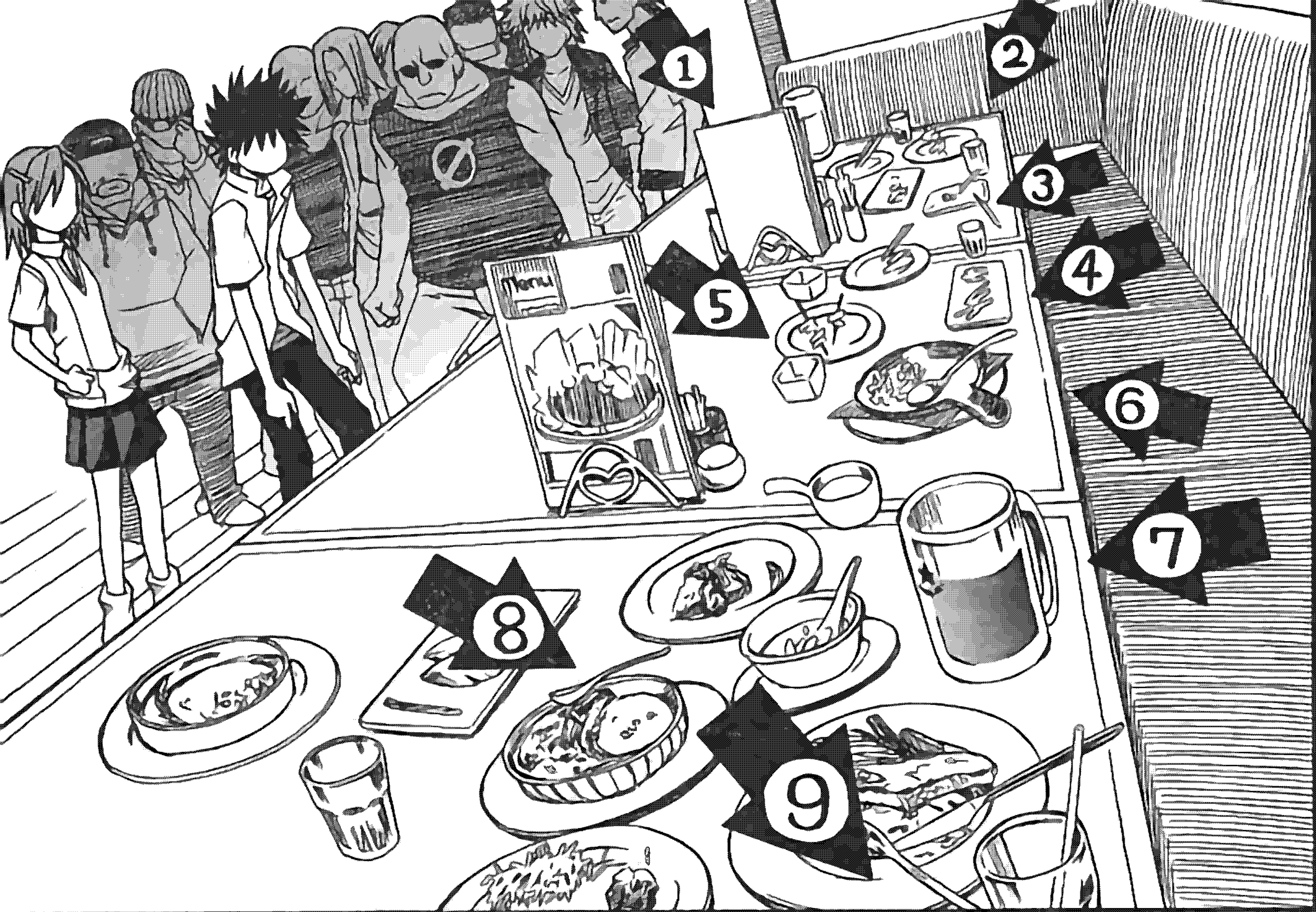


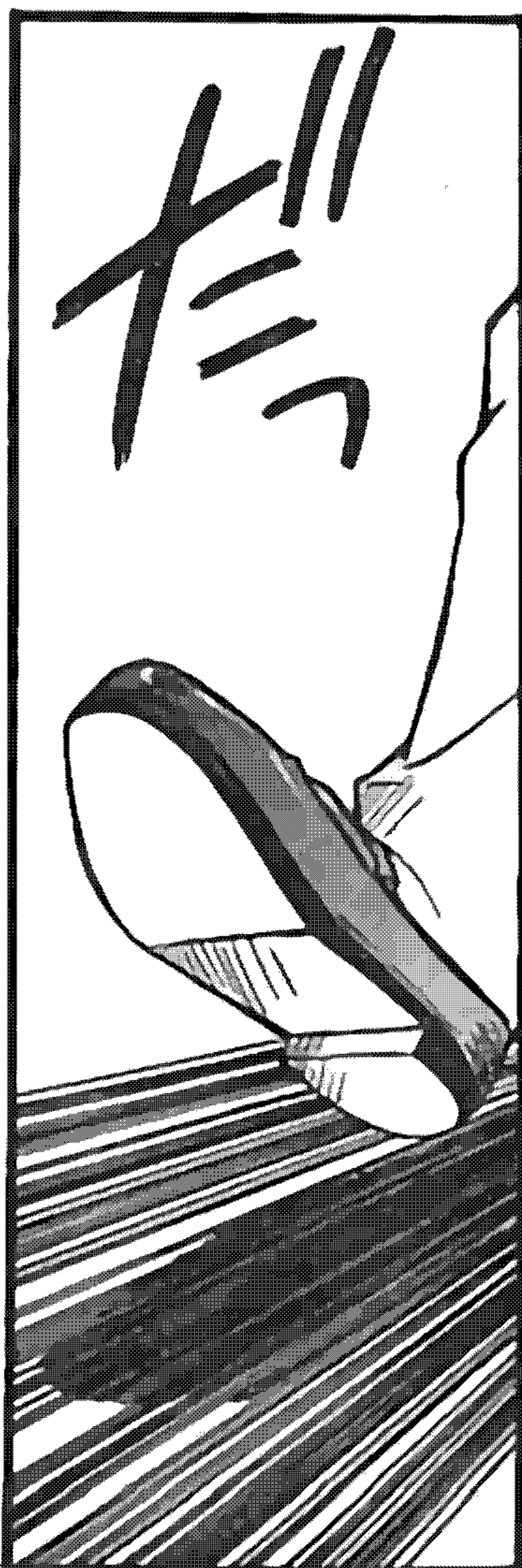
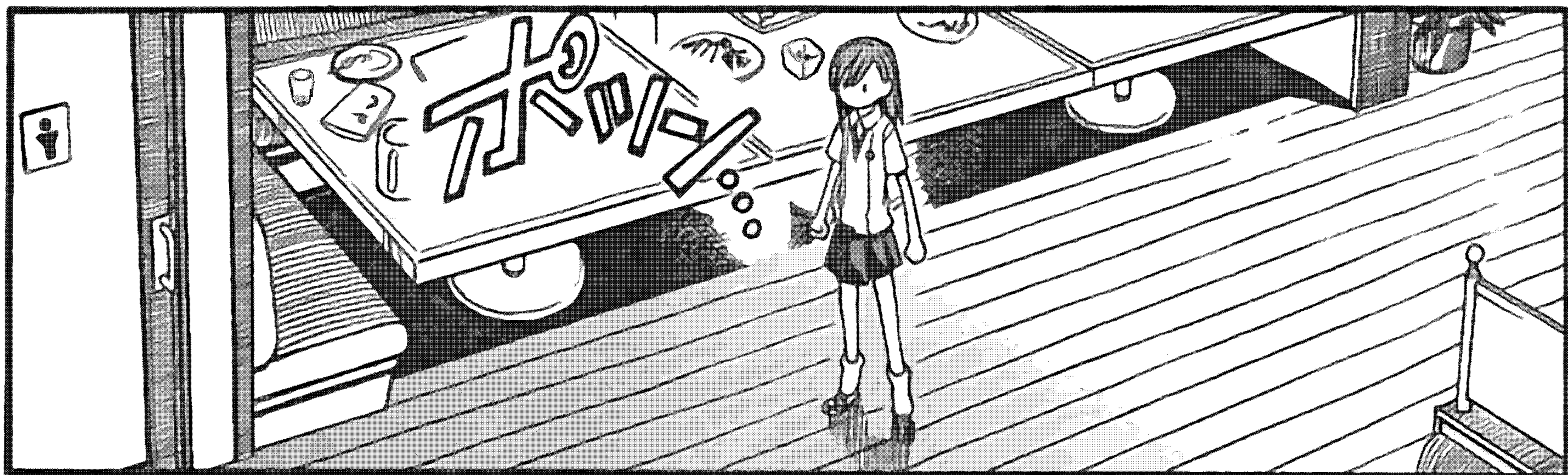
さてはテメーら
グルだな？

そうやって
タダで情報を
手に入れようって
ハラか

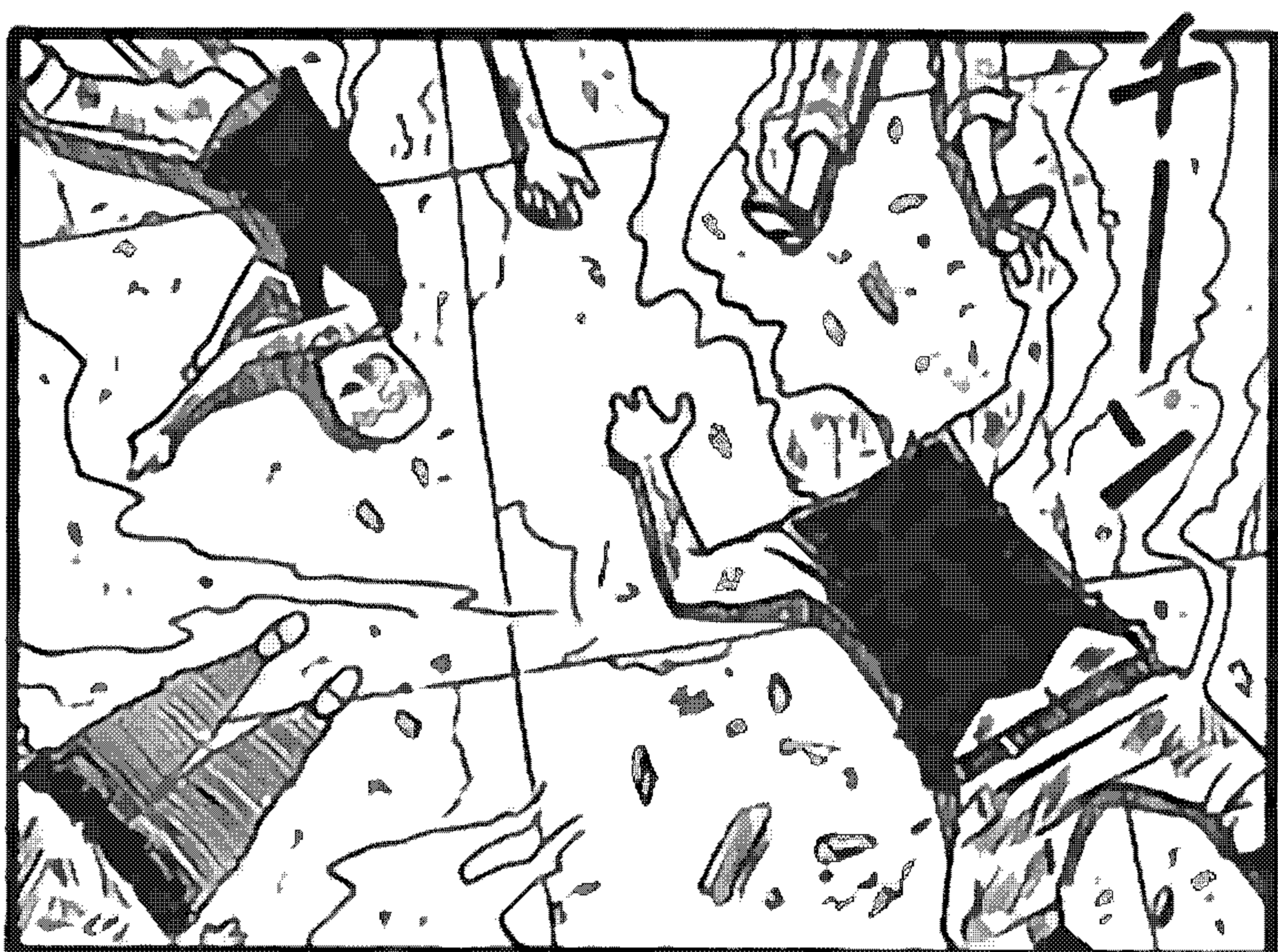
はあ？



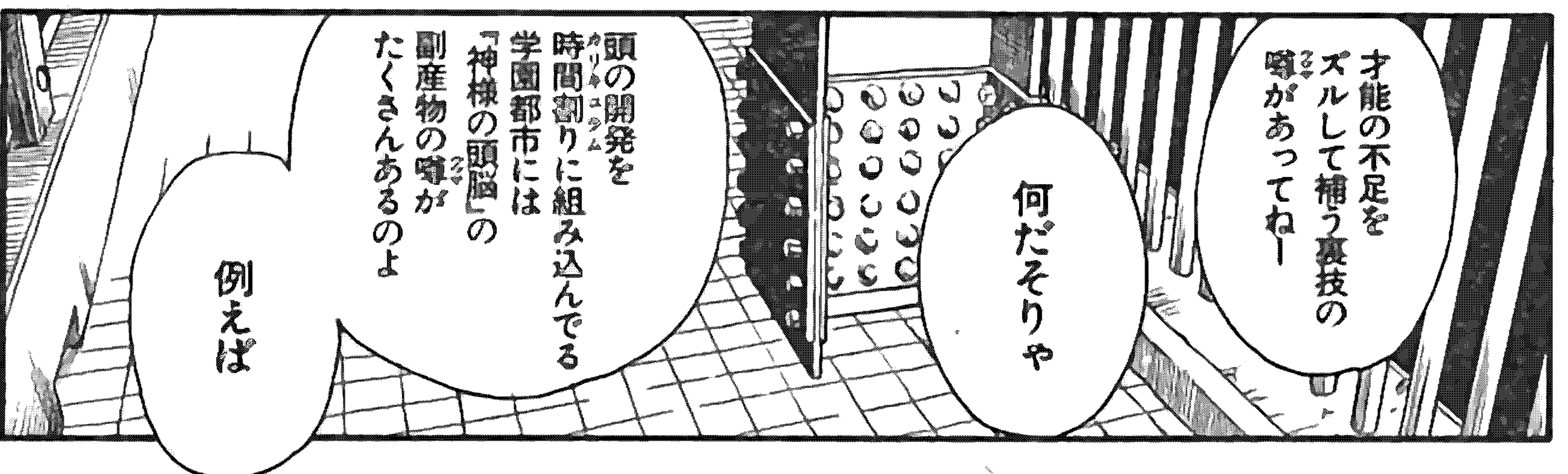
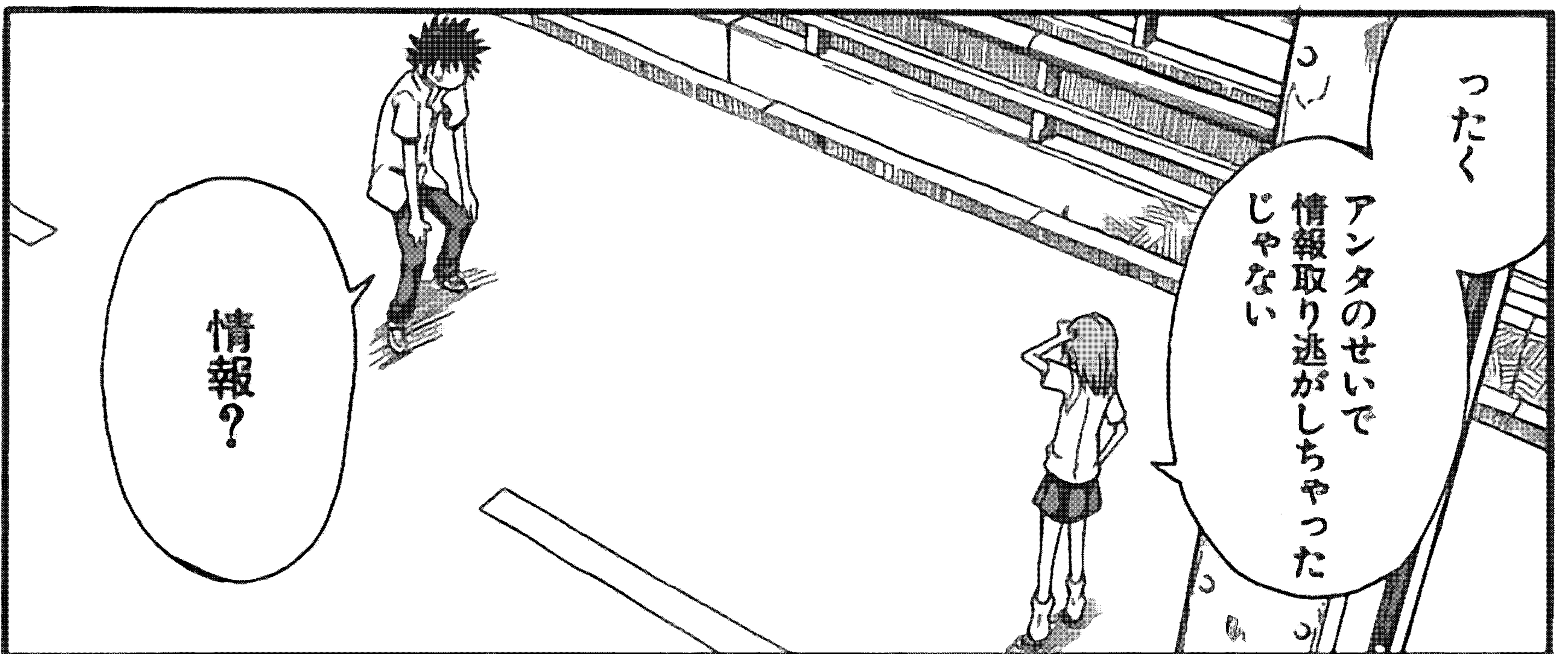


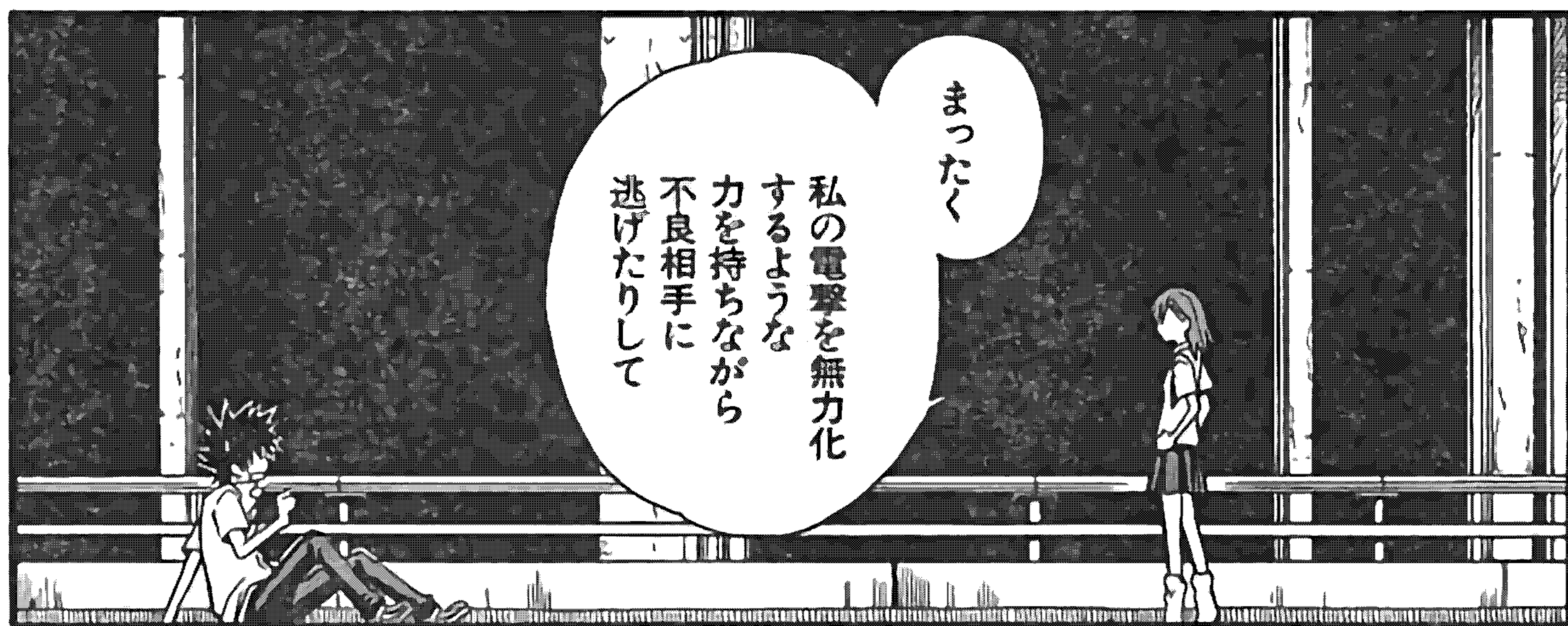
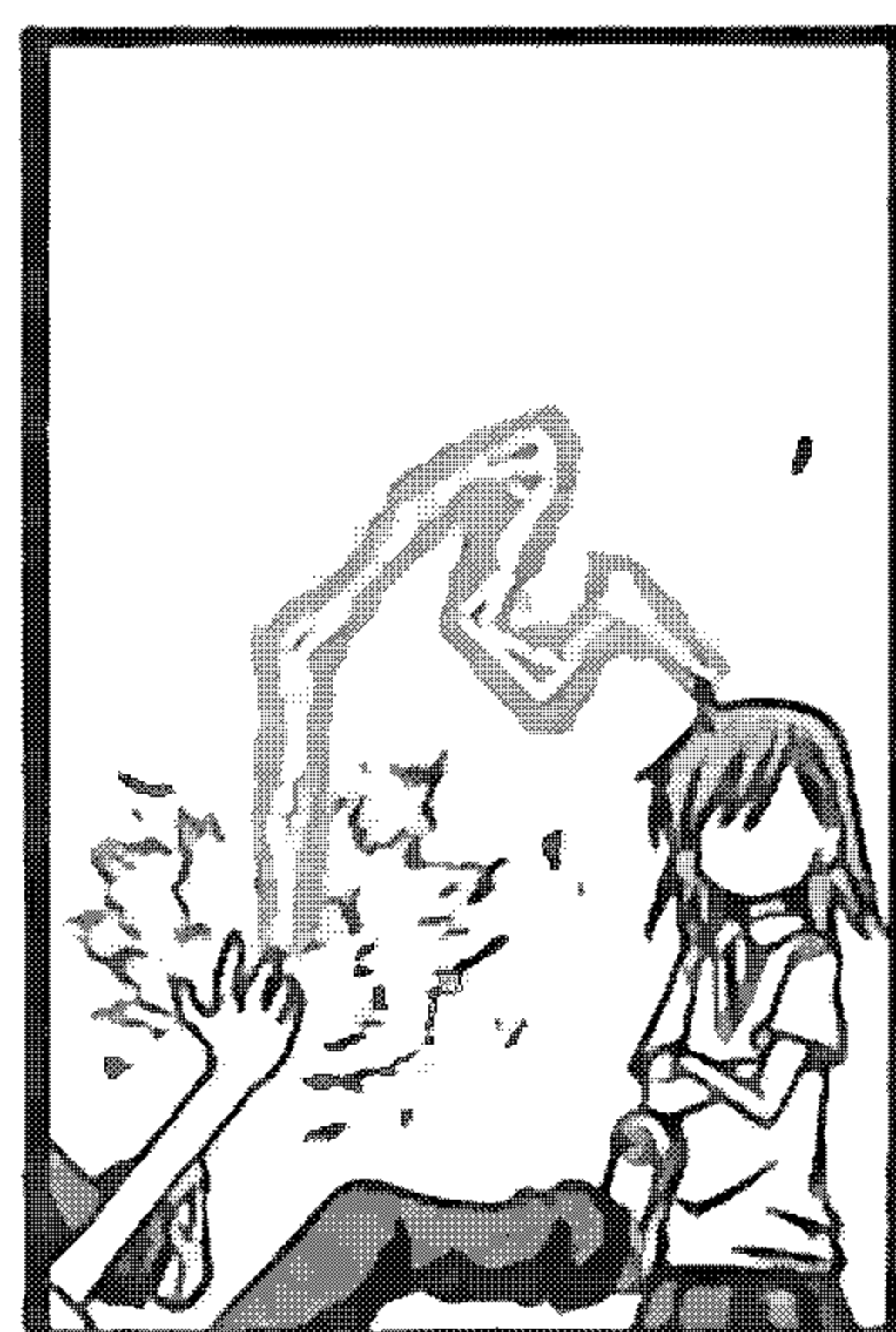
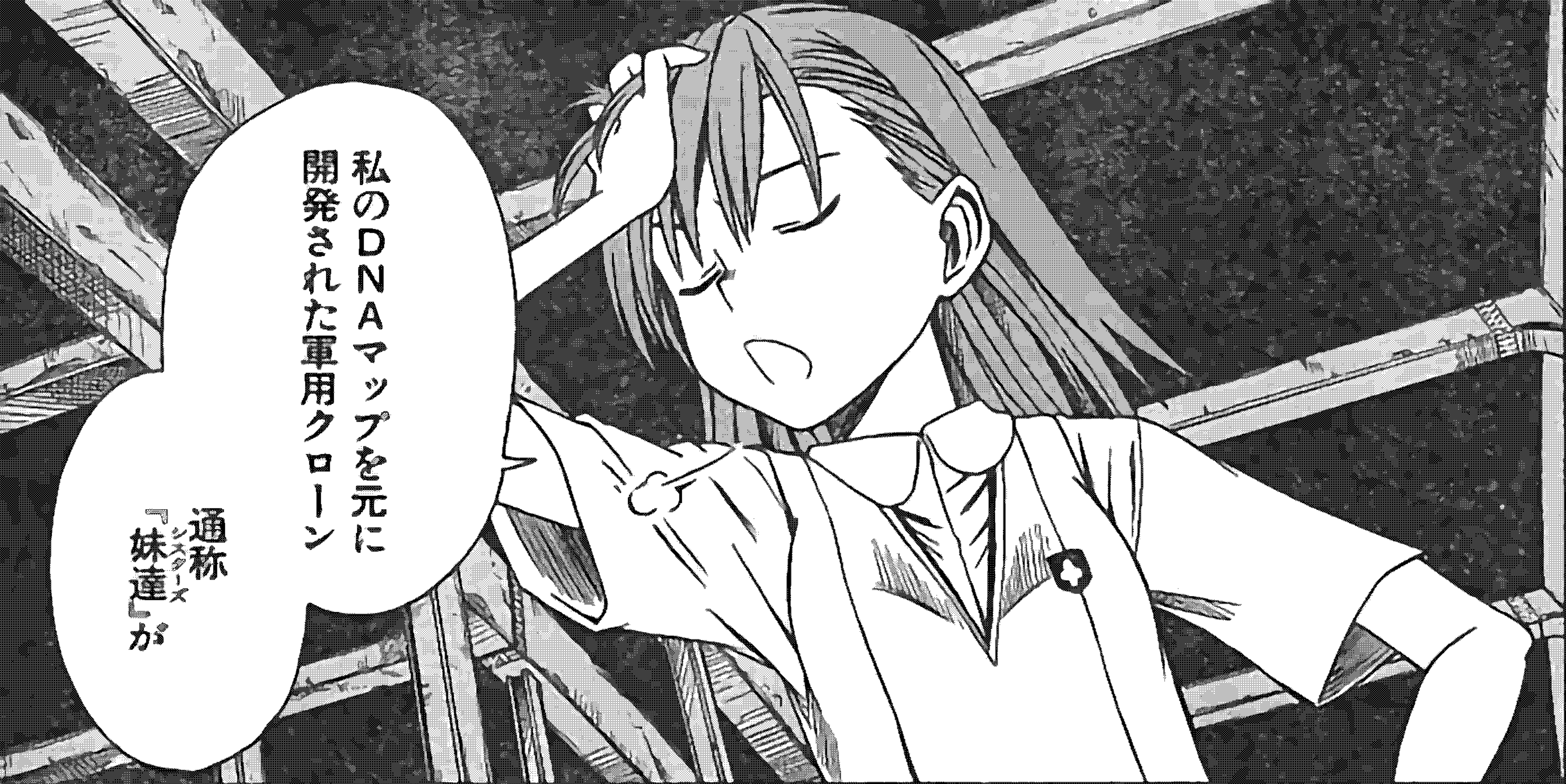












何が無能力者よ

雷撃の槍も
砂鉄の剣も
効かない

超電磁砲まで
打ち消しといて

そんな
二三〇万分の一
の天災が
何を言ってる
のよっ!!

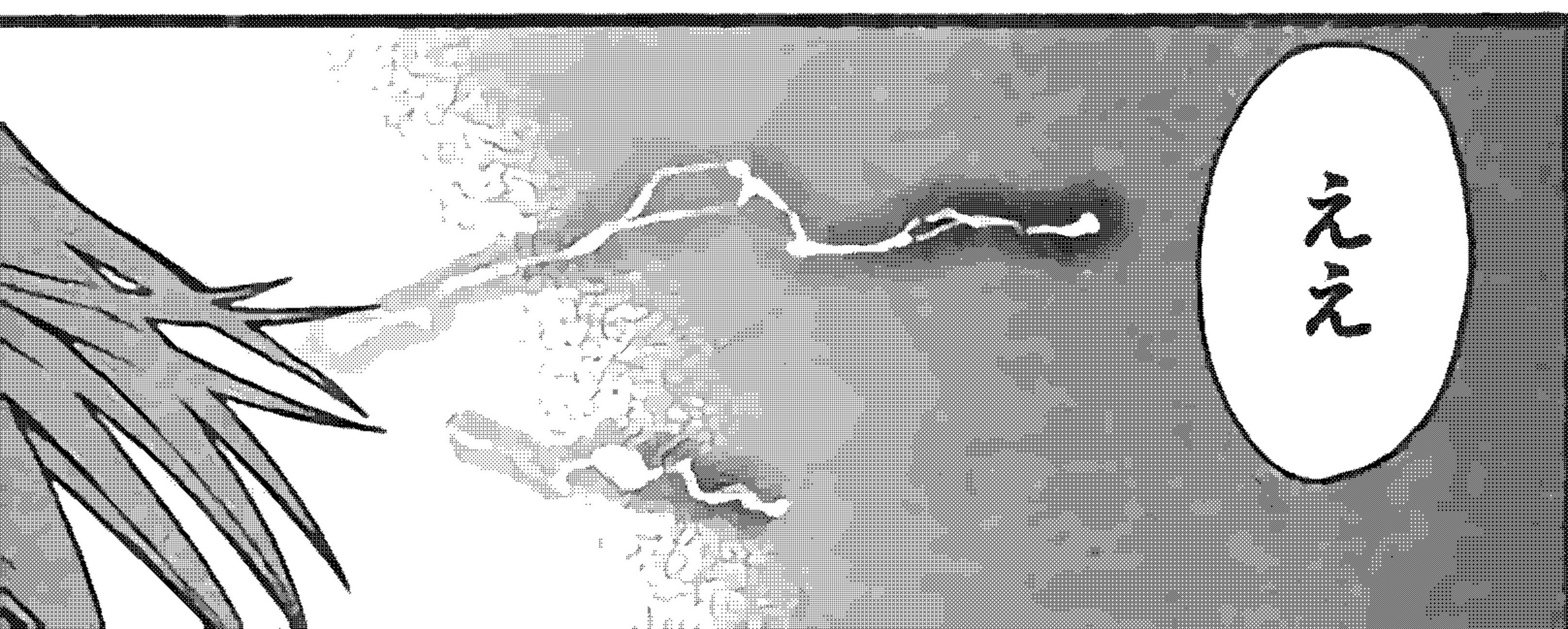
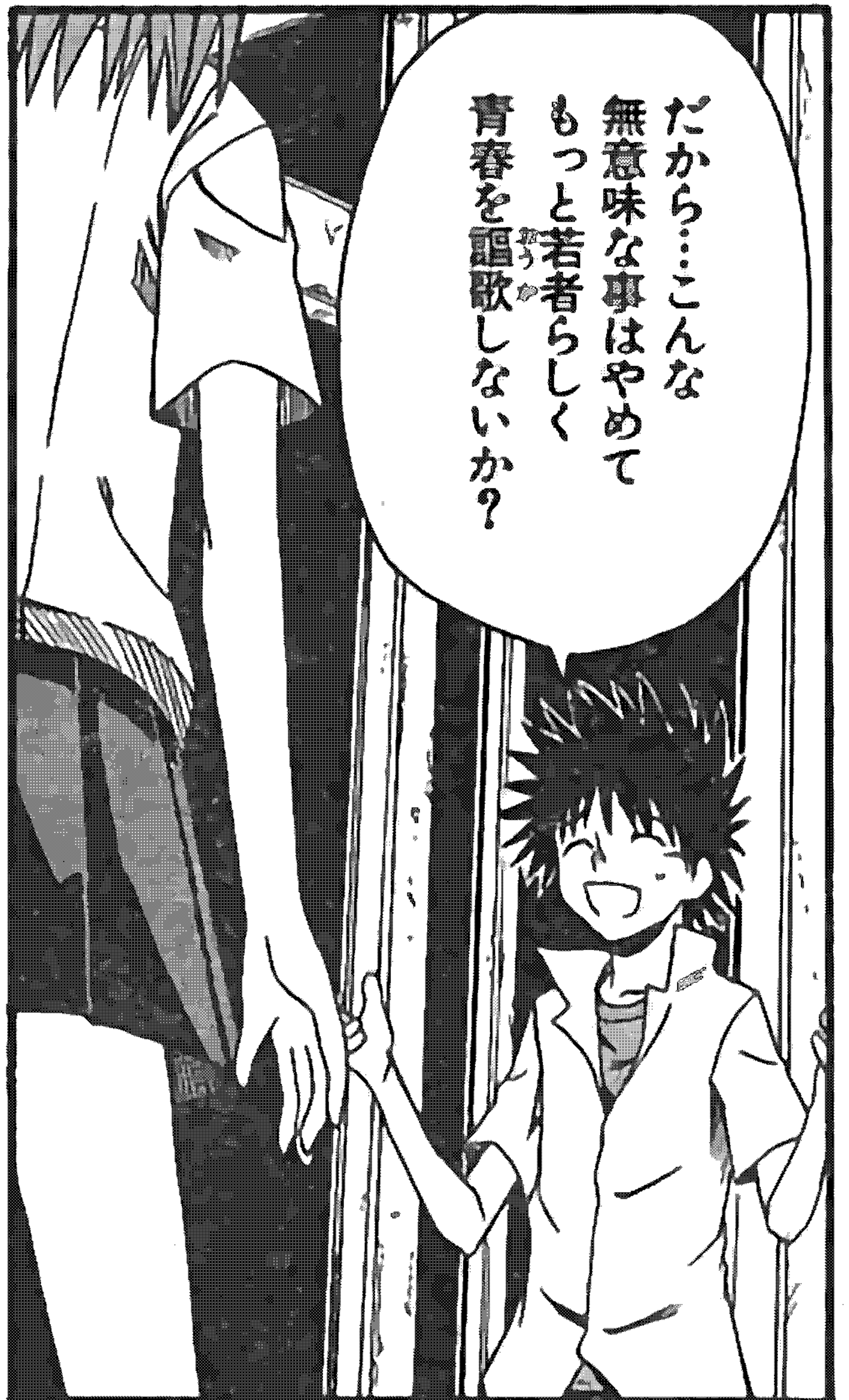
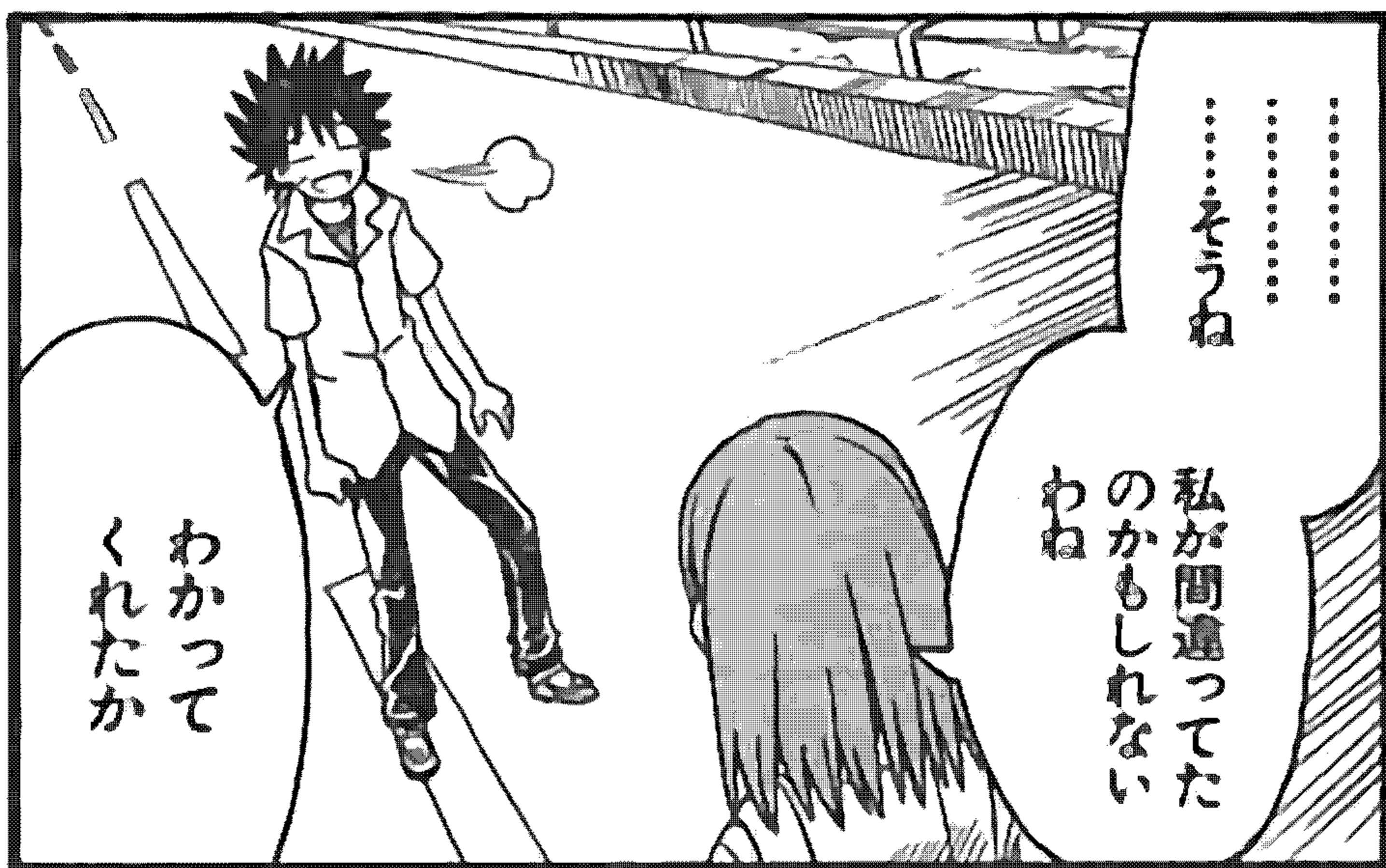
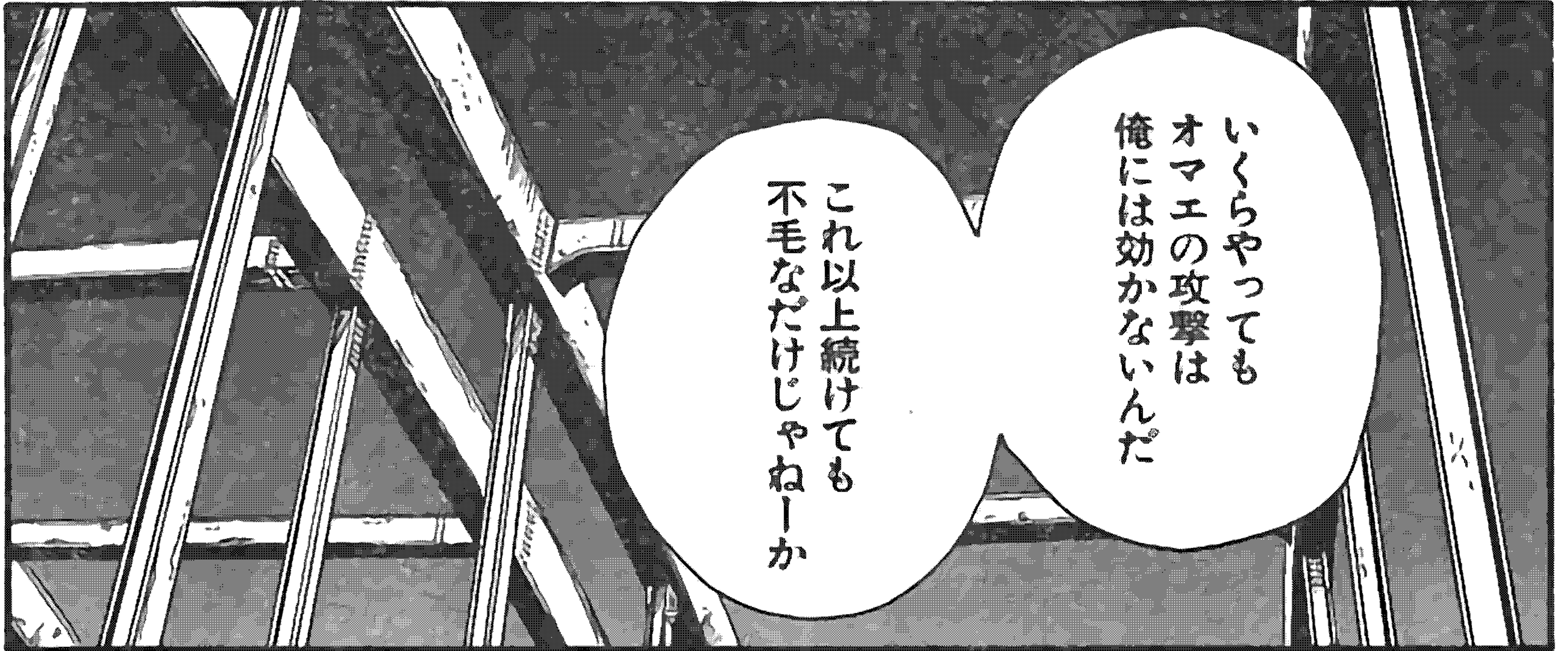
はあ、

はあ、

…何て言うか
不幸っつーか

ついてねーよな

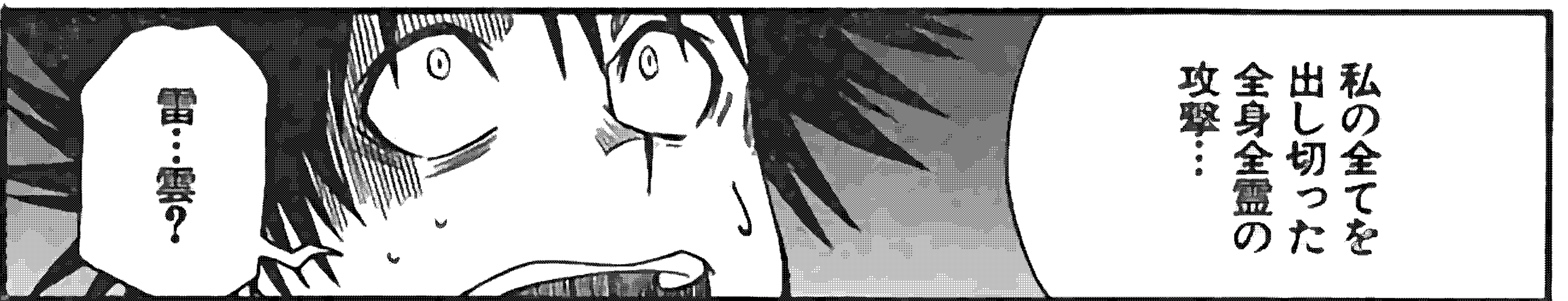
オマエ
本当についてねーよ





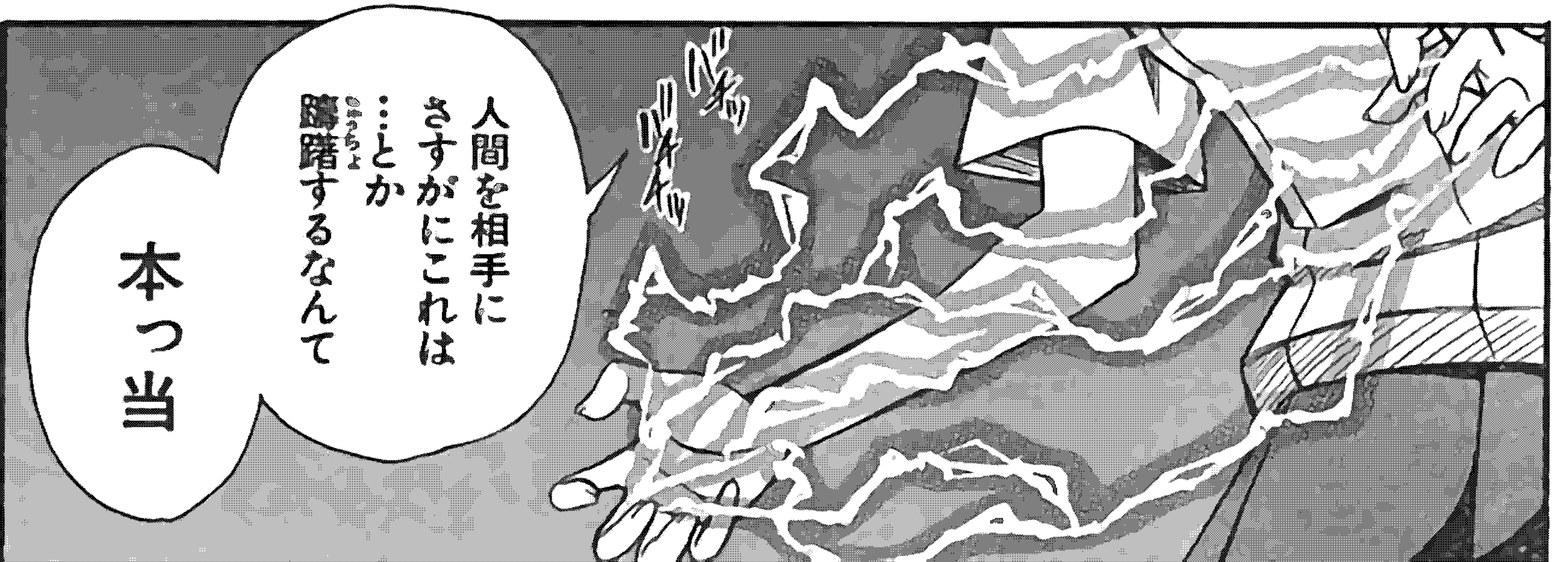
ずっと
心のどこかで
プレーキを
かけてたのかもね

ゴゴゴ



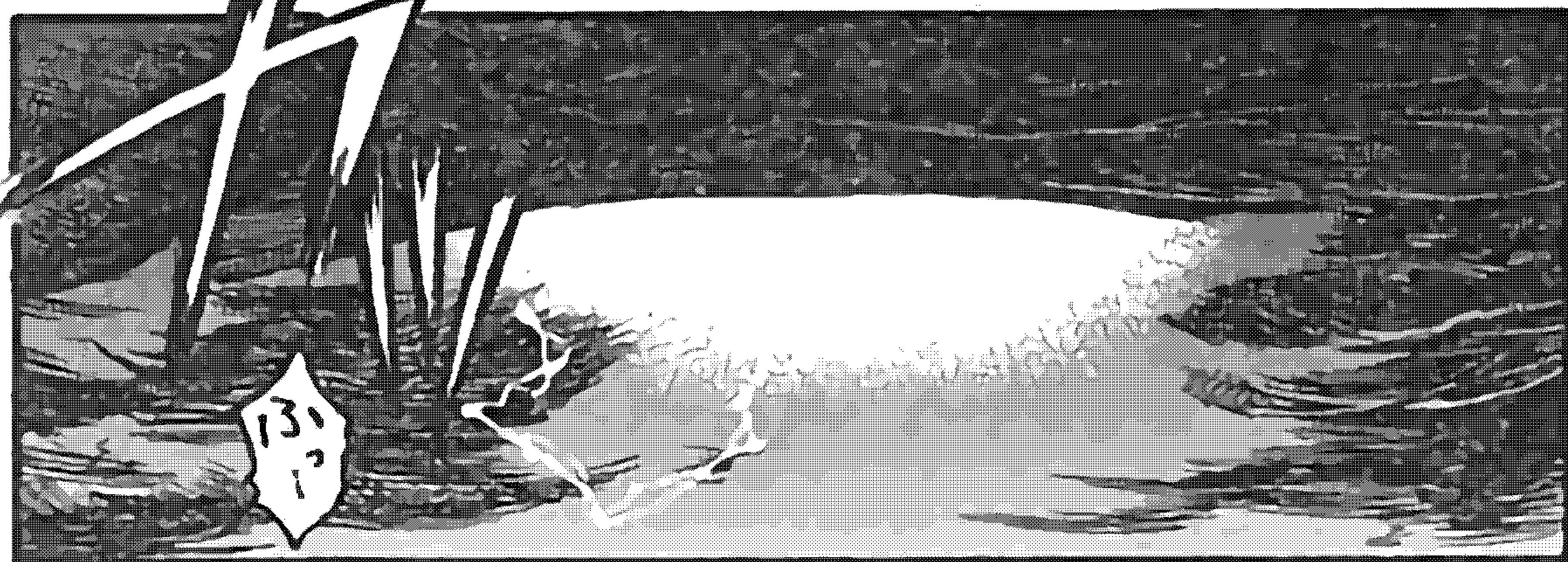
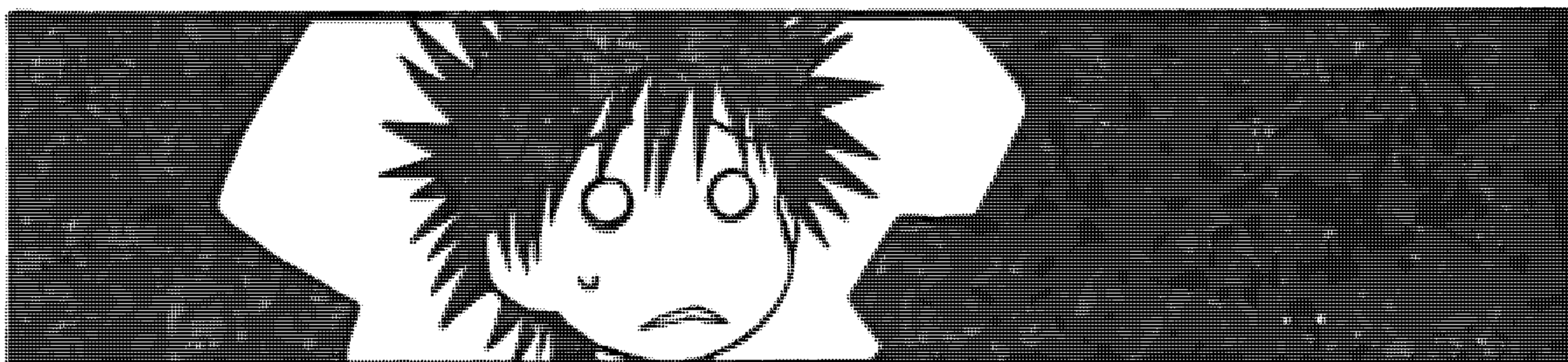
私の全てを
出し切った
全身全霊の
攻撃…

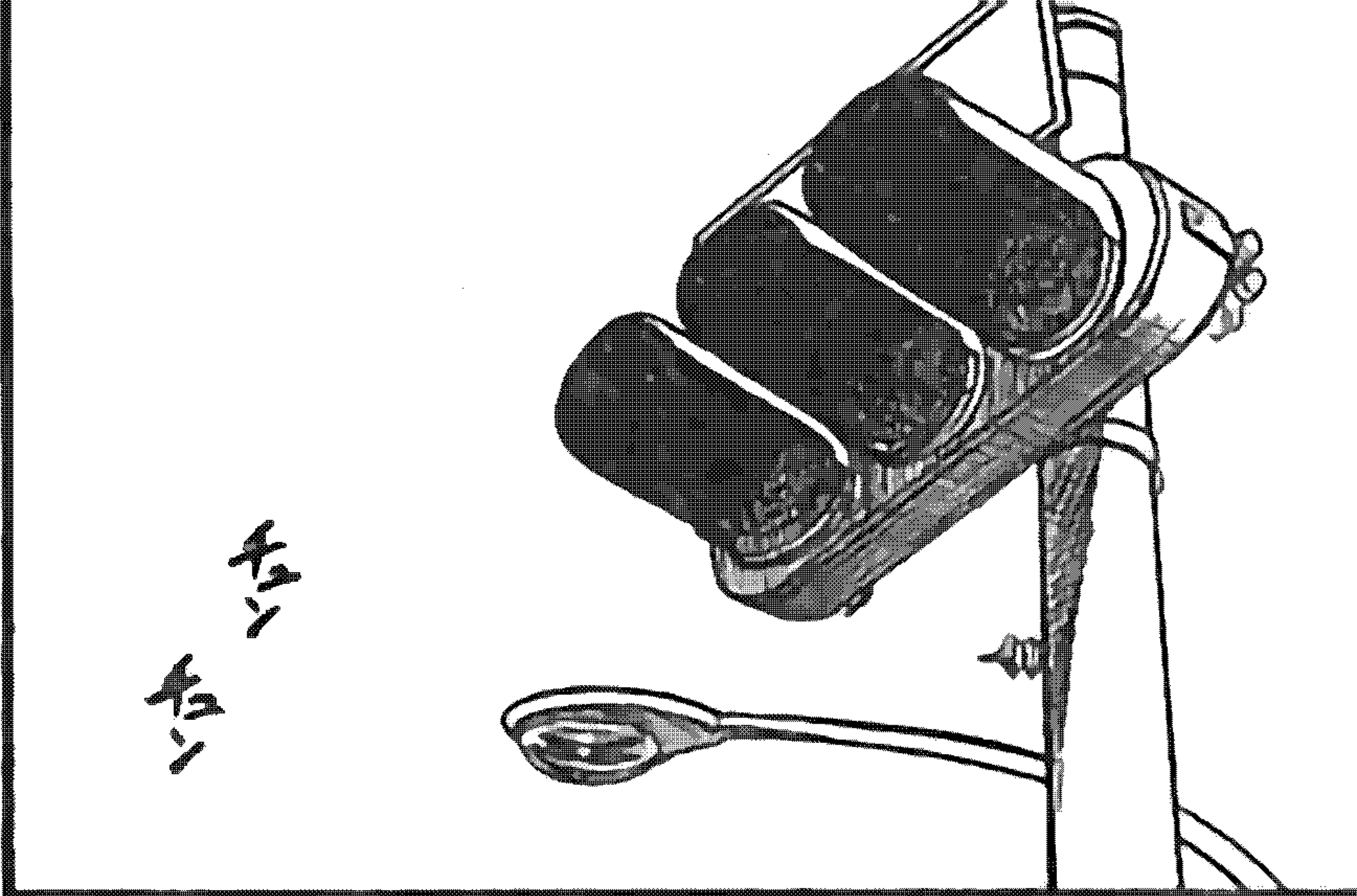
雷…雲？



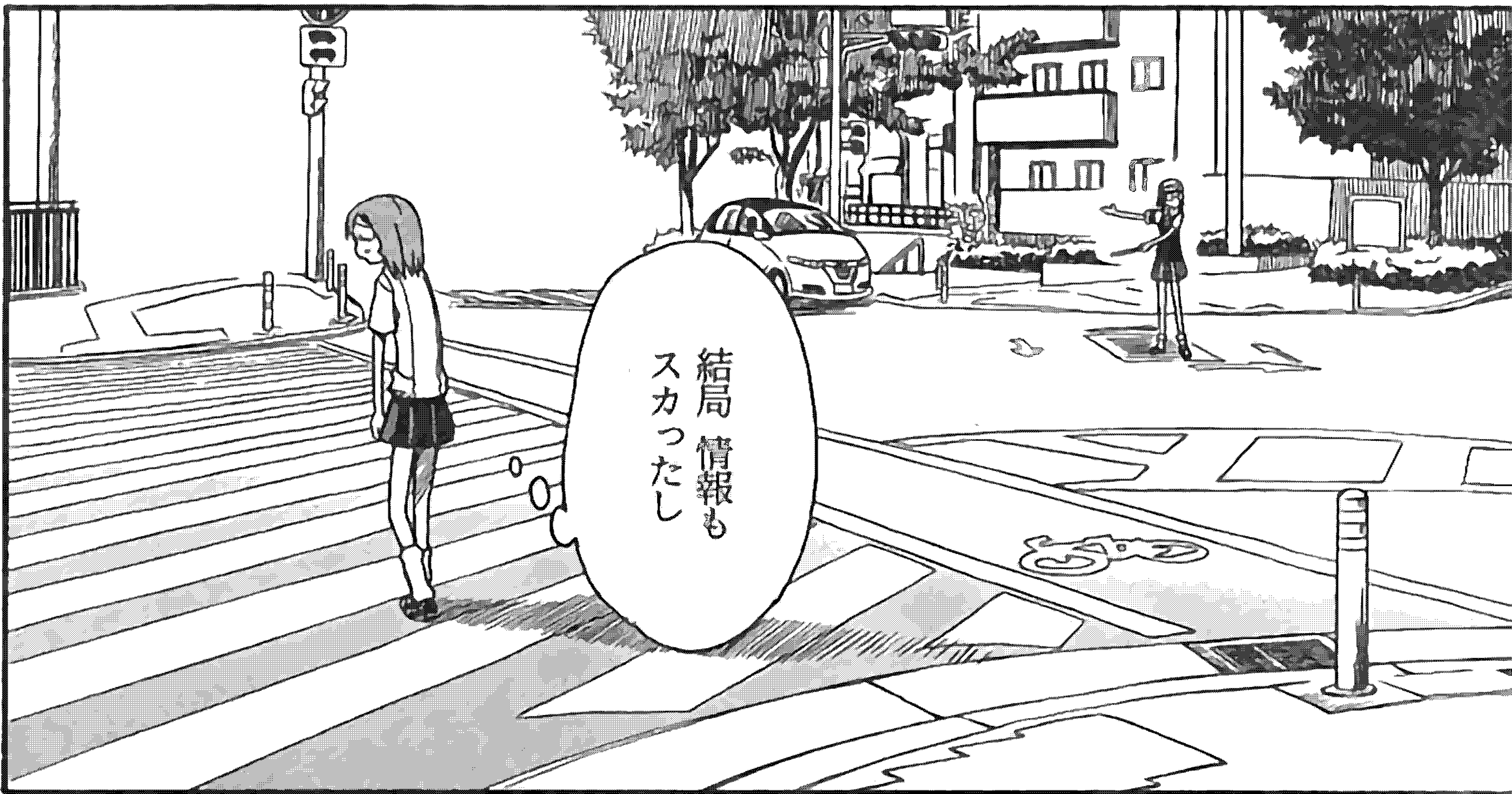
人間を相手に
さすがにこれは
…とか
躊躇するなんて

本っ当





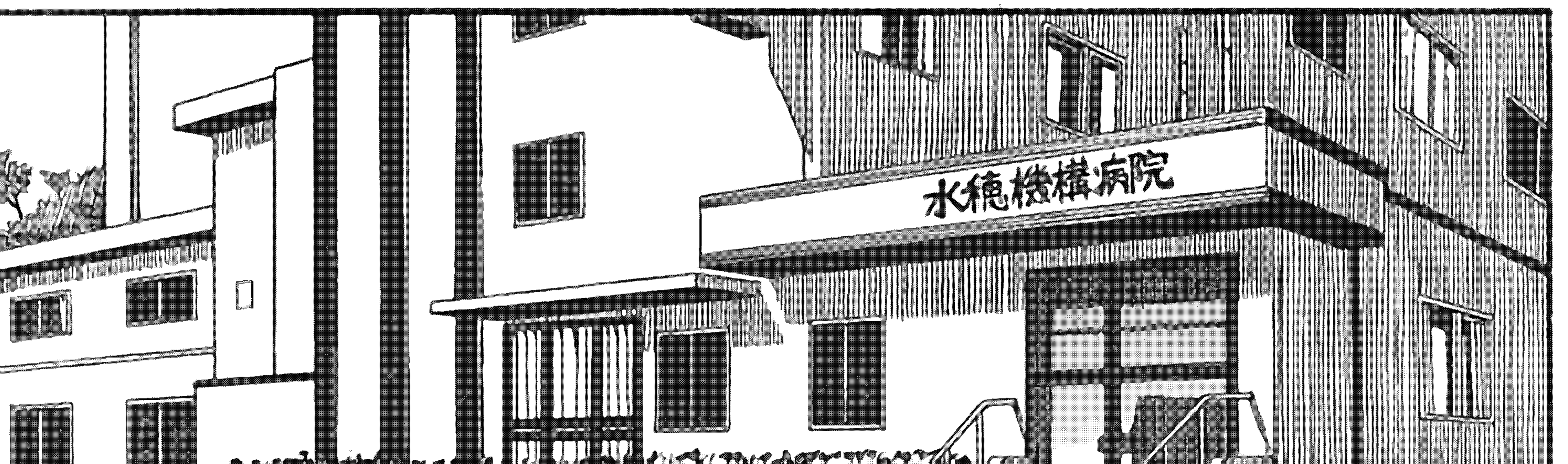
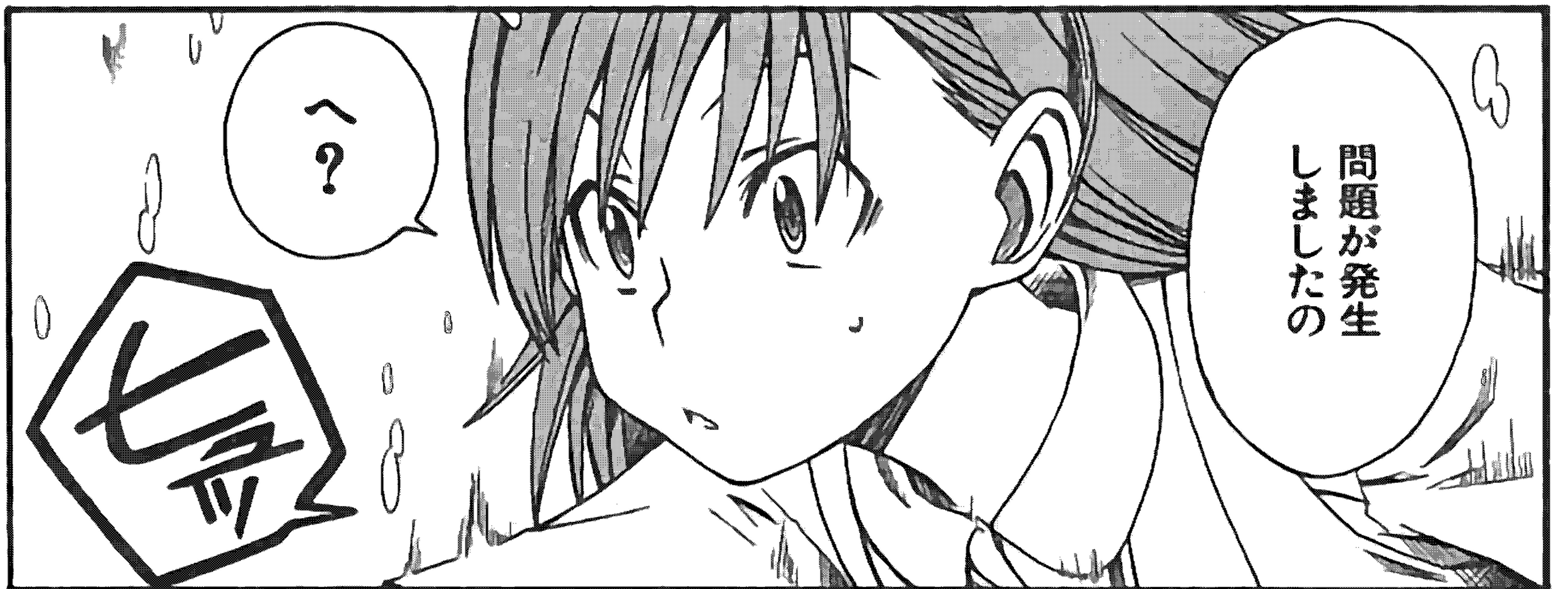
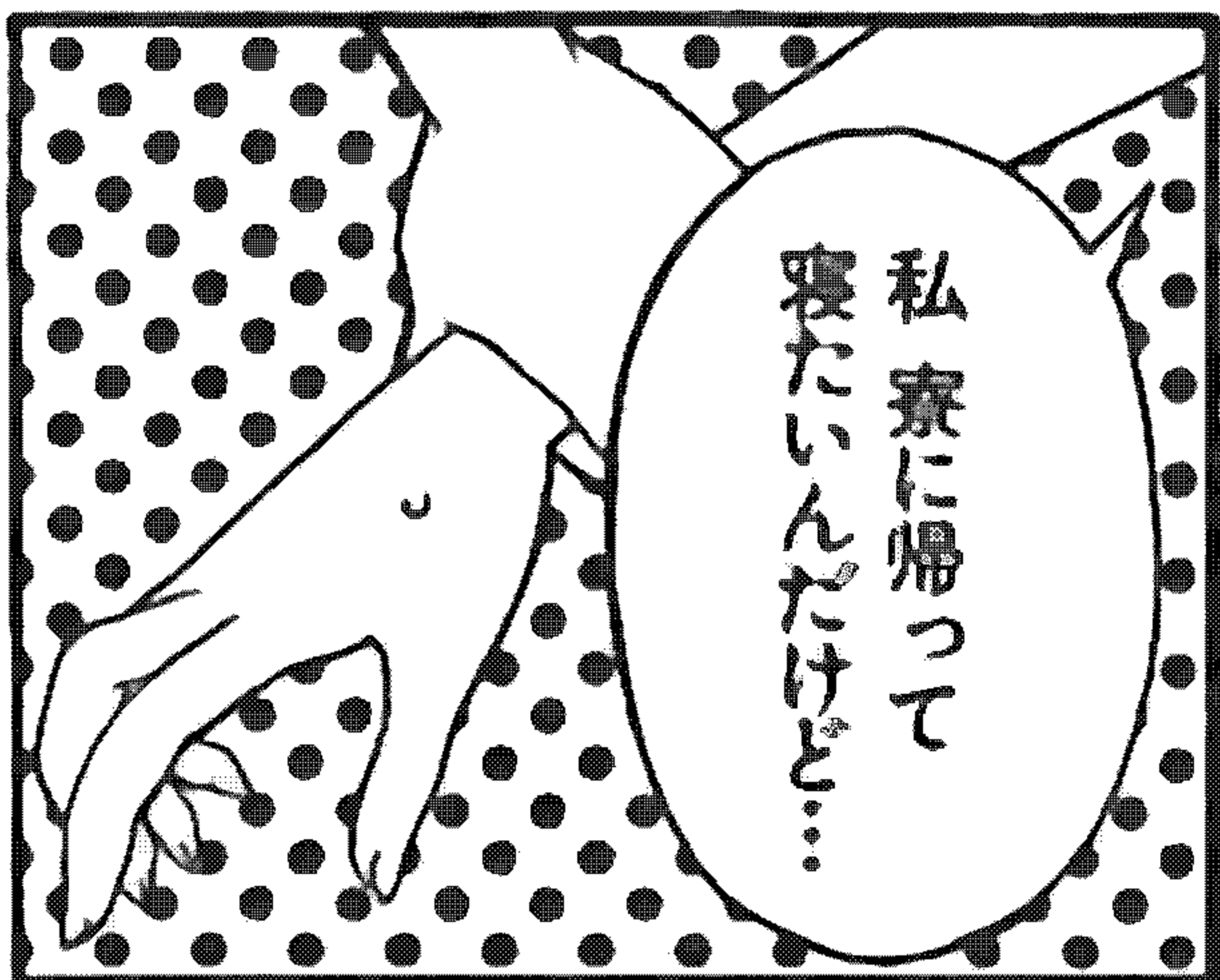
チン
チン

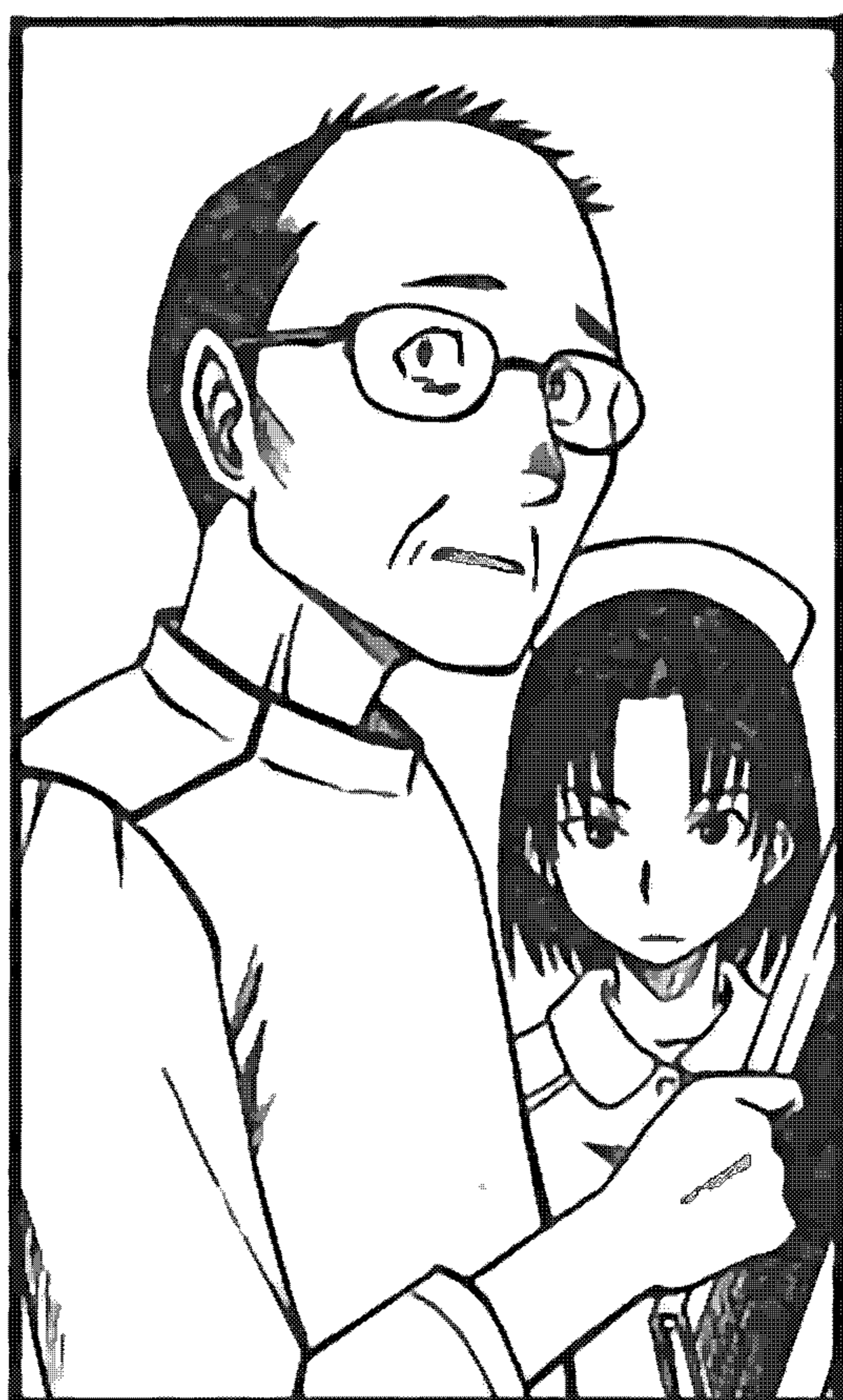
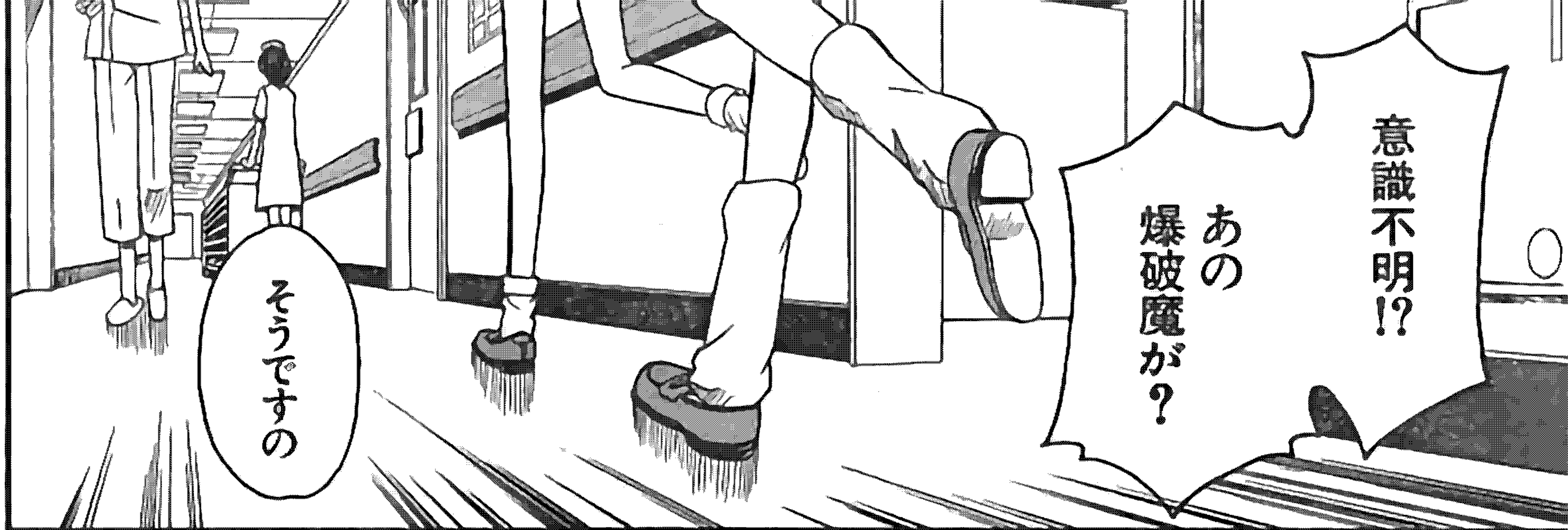


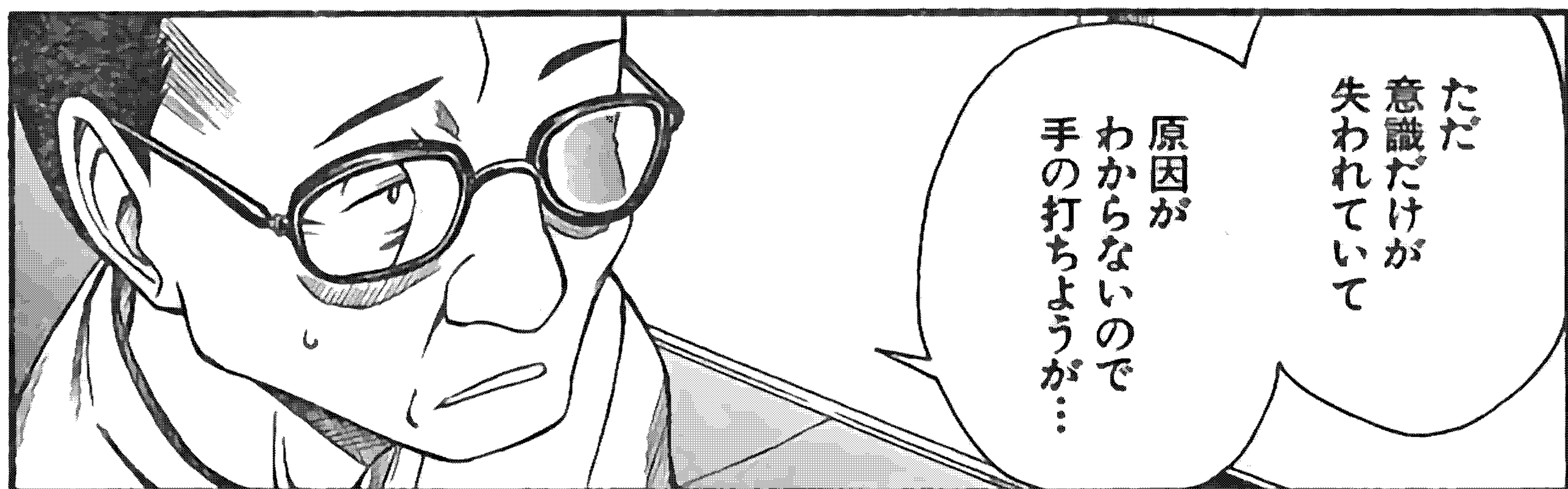
◆冬川基先生におたよりを

〒101-8305

株式会社電撃大王編集部
コミック電撃大王編集部

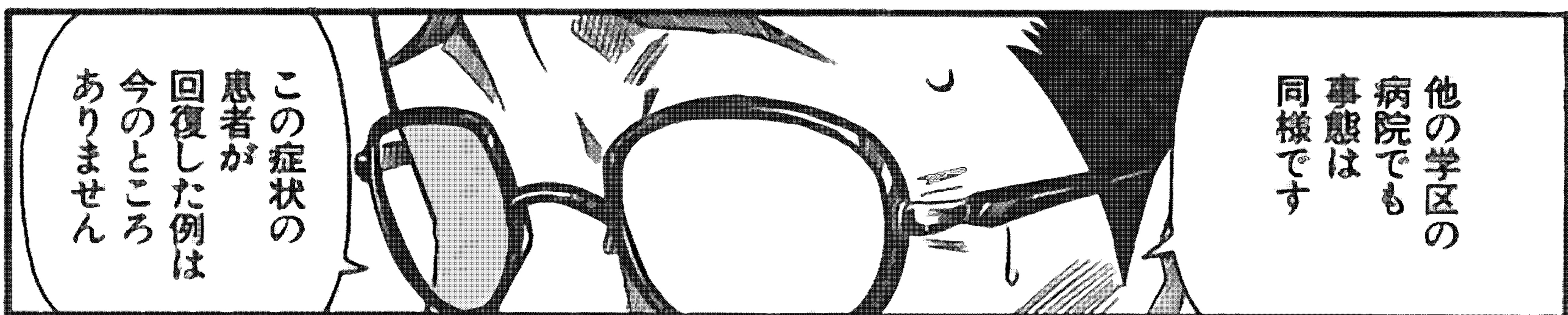








今週に入って
同じ症状の患者が
次々と運ばれて
くるようになりました



他の学区の
病院でも
事態は
同様です

この症状の
患者が
回復した例は
今のところ
ありません



まさかこれも
「幻想御手」が……

今のところ
情報不足で
何とも……



ただ

何か共通の要因が
必ずあるはずだ



伝染病
とか……?



いえ
ウイルスは検出されて
いませんし
関係者の二次感染も
起きていないので
その可能性は低いと
考えています

ですが
仮にそうだと
するなら
事態は深刻
ですわね

情けない
話ですが

当院の
施設とスタッフの
手に余る
事案ですので

コッ

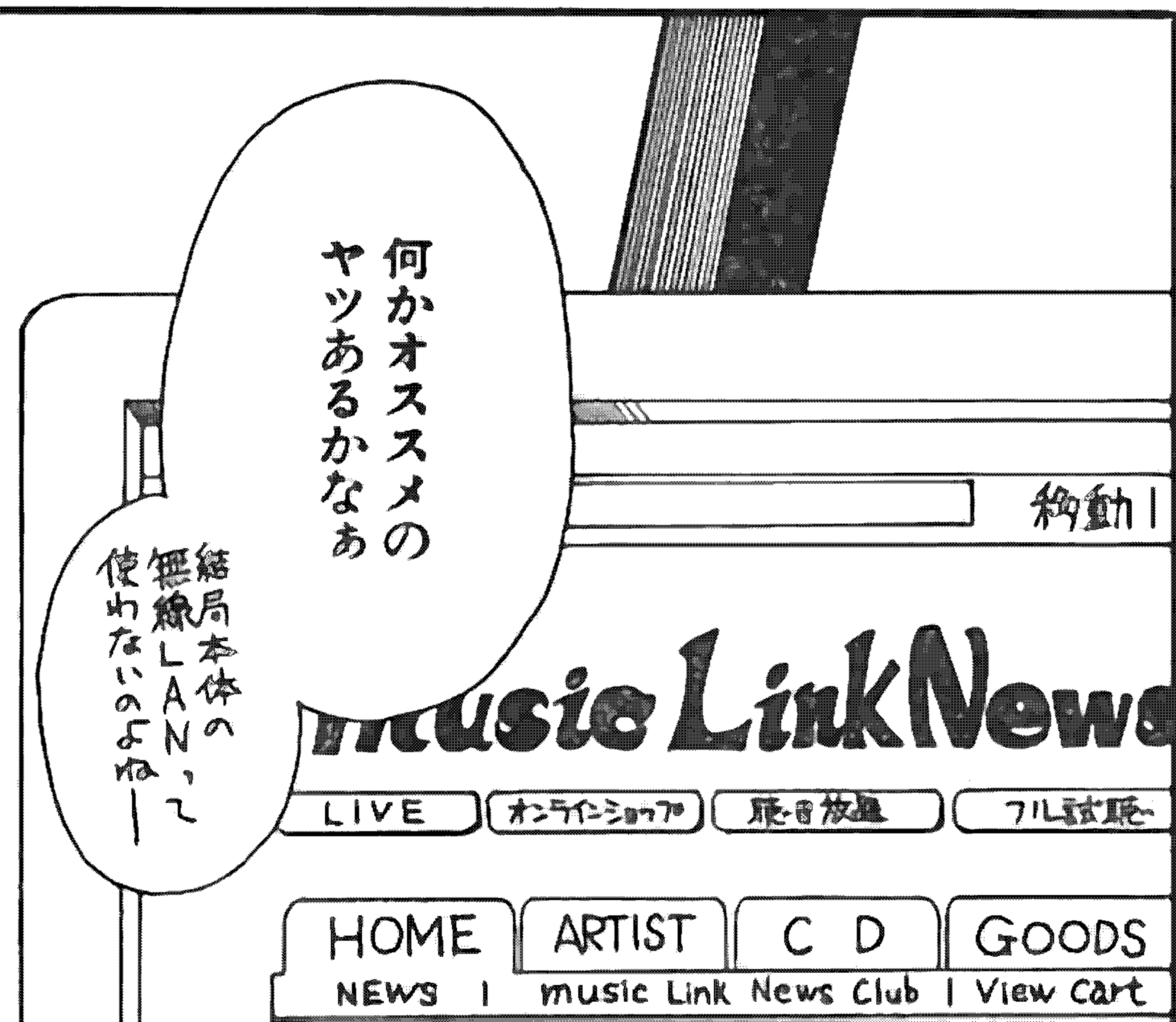
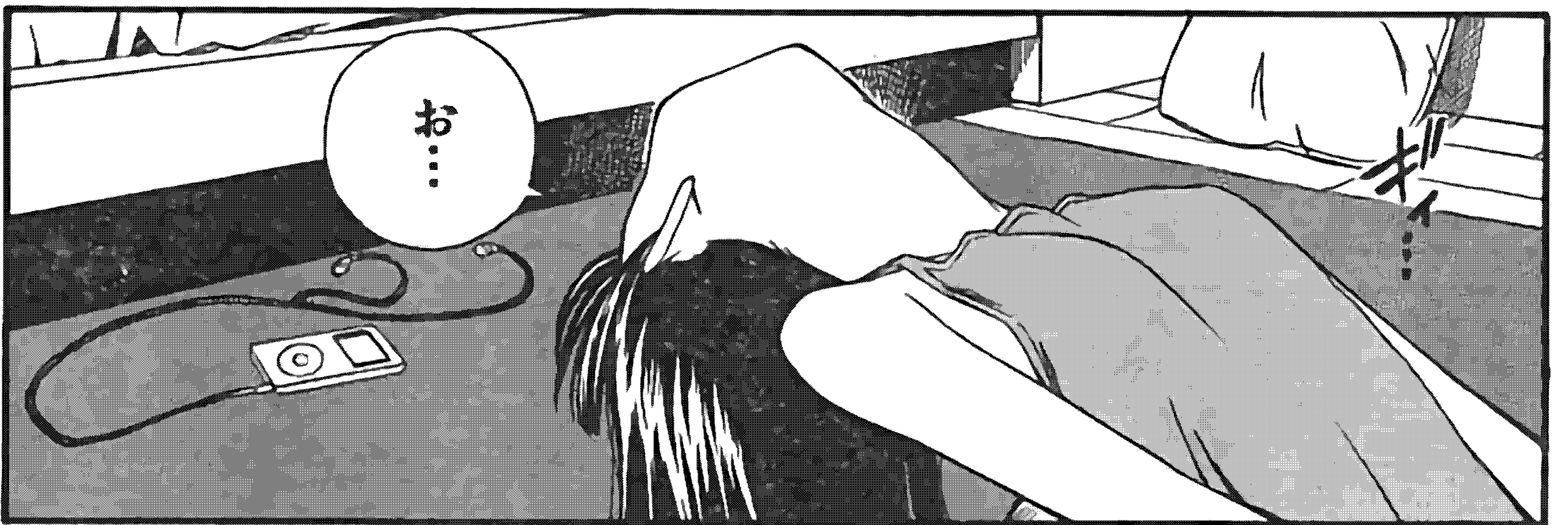
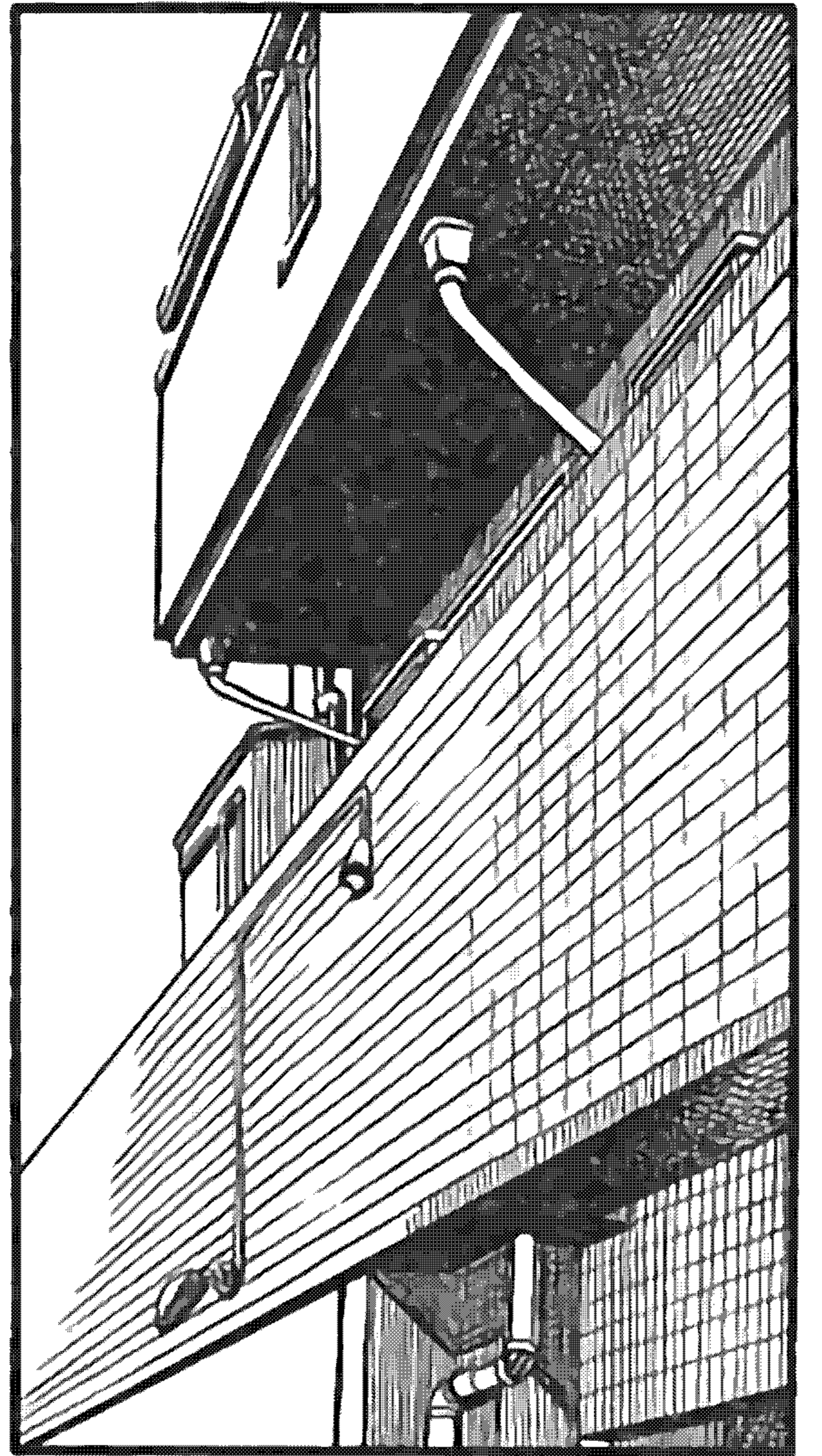
コッ

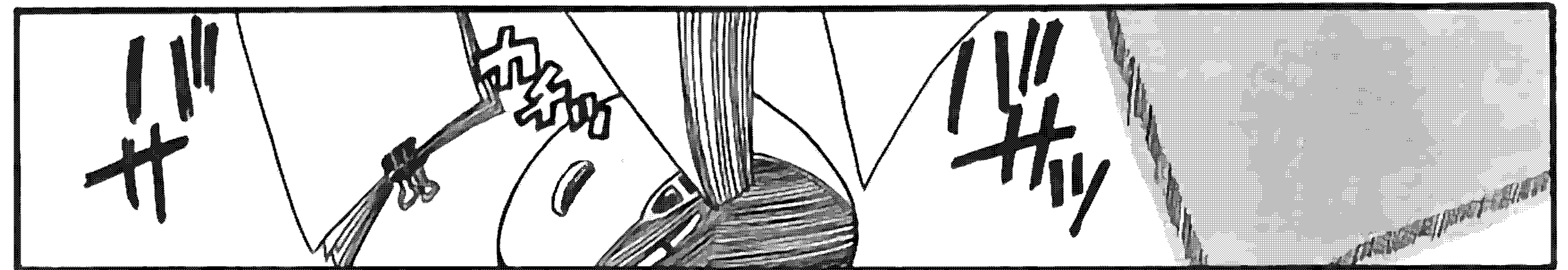
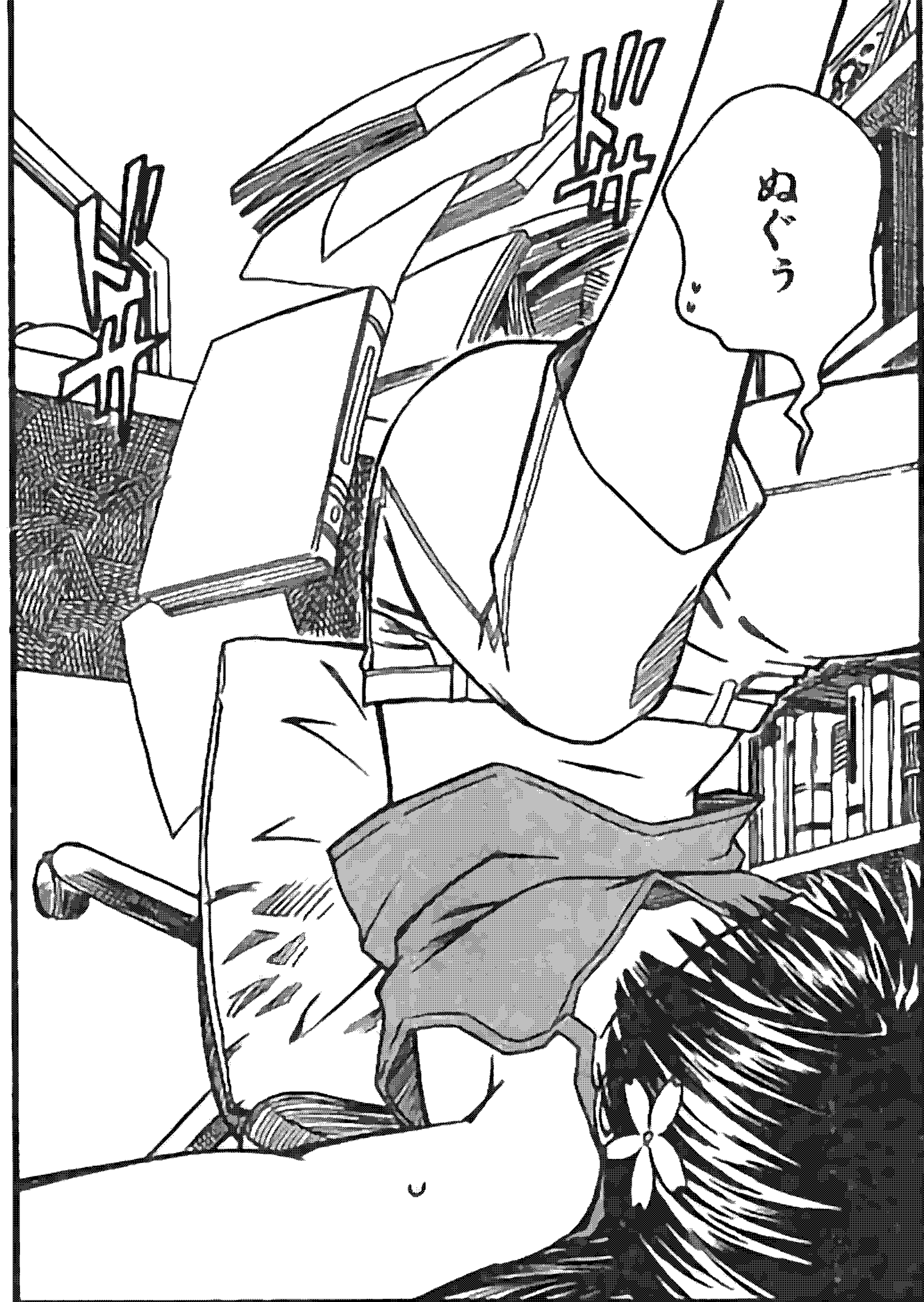
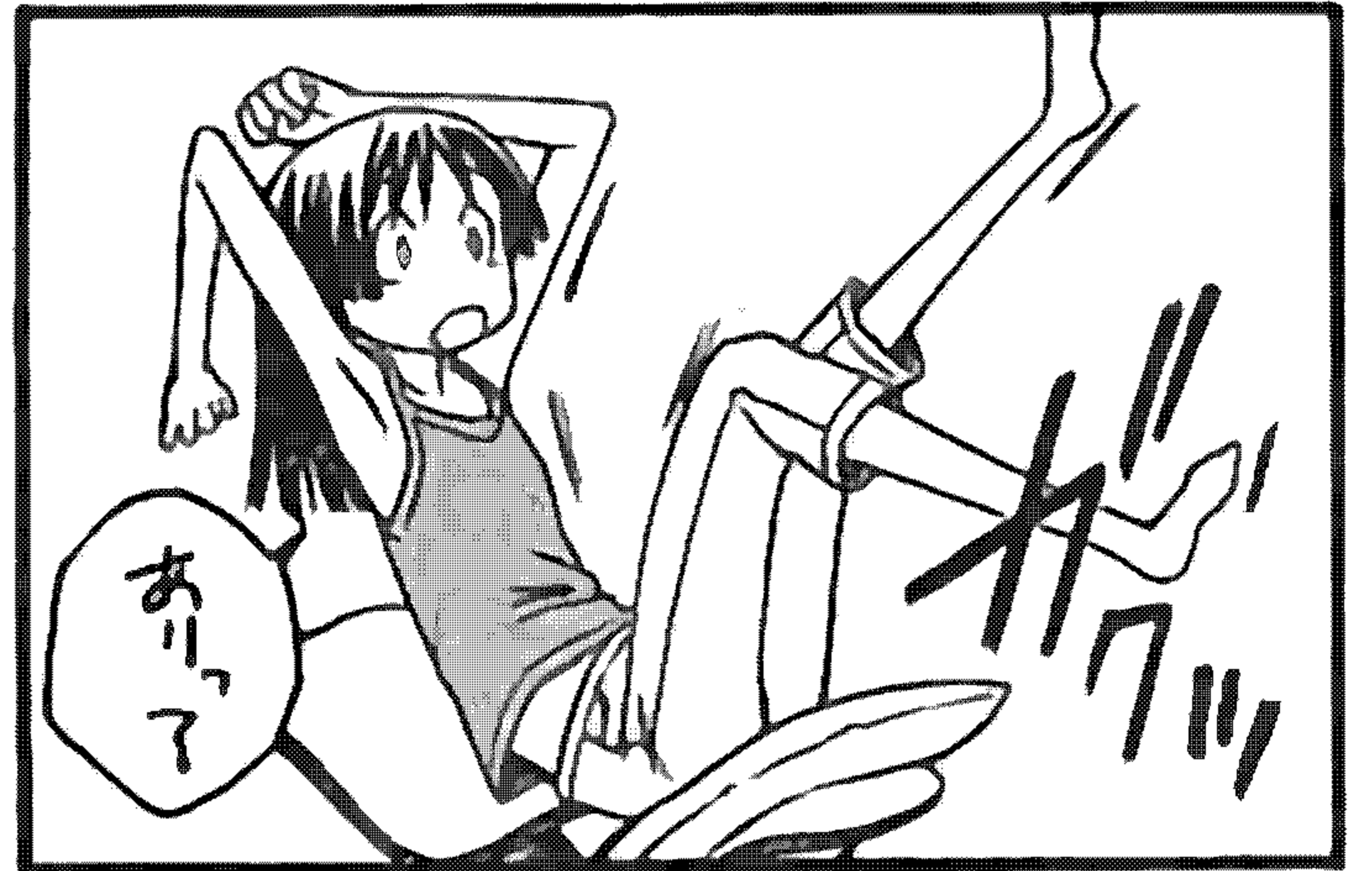
間もなく
到着される
予定です

カッ

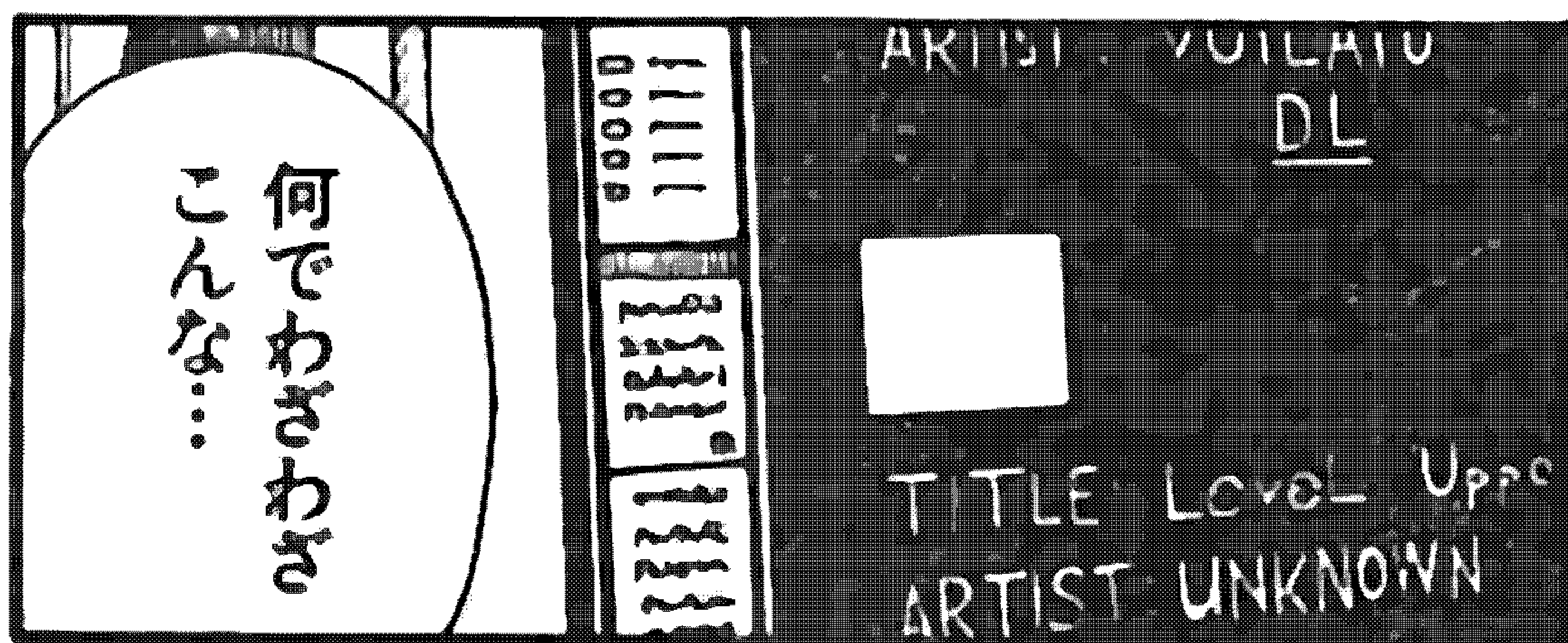
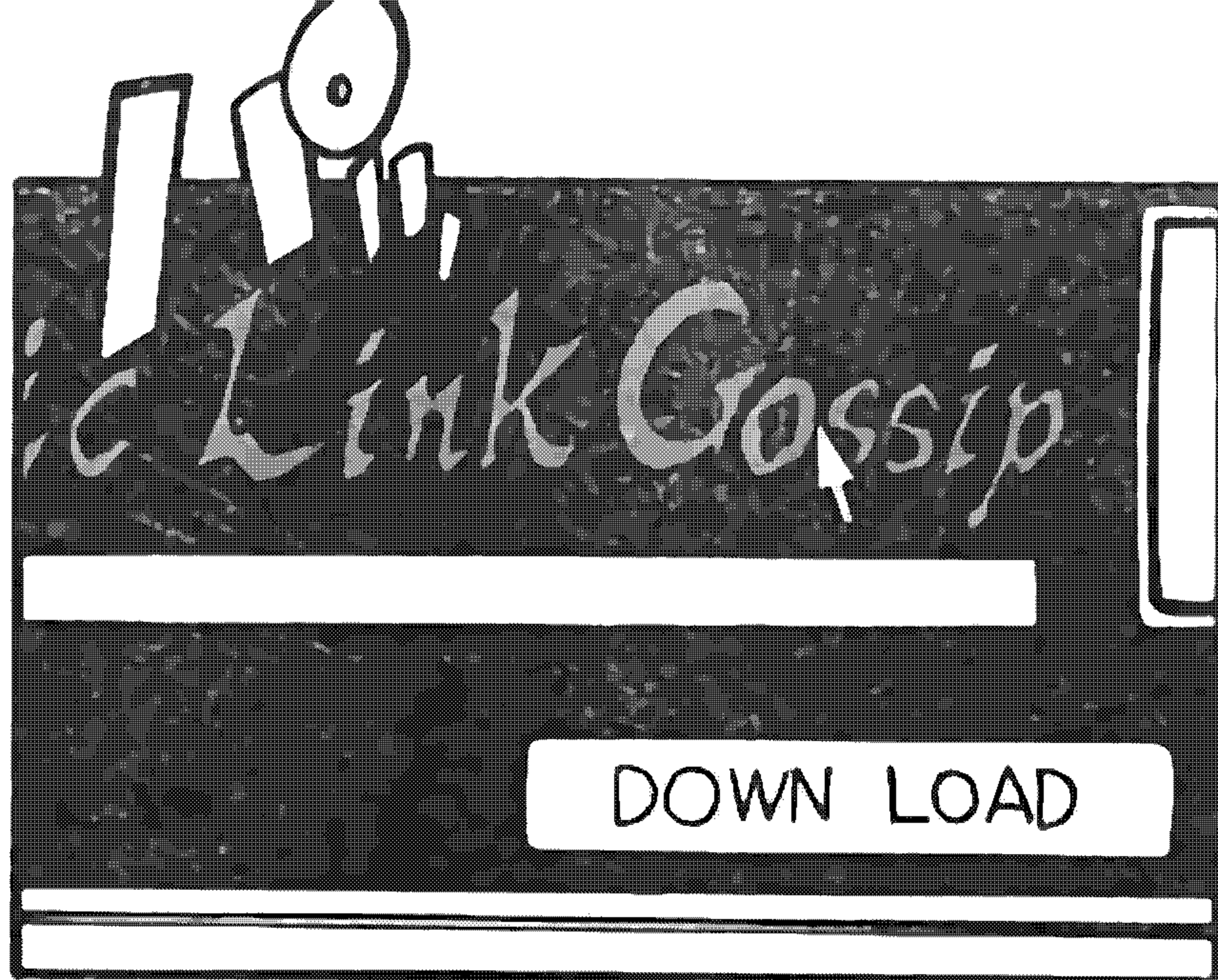
外部から大脳生理学の
専門チームを招きました







偶然佐天の目の前に現れた『Level Upper』の文字。果たして本物…?



TITLE:Level Upper
ARTIST:UNKNOWN



◀ 次回掲載は 12月号 ● 10月20日出売 //